令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

１．添削課題（レポート）提出期限

	前期	後期
第１回	４月 25 日（金）	10 月 17 日（金）
第２回	５月 16 日（金）	11 月７日（金）
第３回	５月 30 日（金）	11 月 21 日（金）
第４回	６月 13 日（金）	12 月５日（金）
第５回	６月 27 日（金）	12 月 19 日（金）
第６回	７月 11 日（金）	１月 16 日（金）

２．面接指導（スクーリング）実施日

第１回	６月 17 日（火）～20 日（金）
第２回	７月１日（火）～４日（金）
第３回	７月７日（月）～９日（水）
第４回	７月９日（水）～11 日（金）
第５回	７月 15 日（火）～17 日（木）
第６回	９月２日（火）～５日（金）
第７回	９月２日（火）～４日（木）
第８回	10 月 21 日（火）～24 日（金）
第９回	10 月 28 日（火）～31 日（金）
第 10 回	11 月５日（水）～７日（金）
第 11 回	11 月 11 日（火）～14 日（金）
第 12 回	11 月 17 日（月）～19 日（水）
第 13 回	11 月 19 日（水）～21 日（金）
第 14 回	12 月２日（火）～５日（金）
第 15 回	２月 25 日（水）～27 日（金）
第 16 回	３月３日（火）～６日（金）

３．単位認定試験実施日

前期３年生	７月 28 日（月）～30 日（水）
前期２年生以下	９月８日（月）～10 日（水）
後期	２月３日（火）～５日（木）

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
国語	現代の国語	単位数：２	滝沢

指導目標

１．実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

２．論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

３．言語がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

メディア学習	あり	東京書籍ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ講座	教科書	東京書籍　現国 701
スクーリング	必要時間数２単位時間以上		副教材	プリント教材ｅトレ
レポート	全６回	B4　６枚＋ｅラーニング	試験範囲	レポート第１回～第６回
単位認定試験	あり	評価割合　80%	評　定	100 点満点　５段階評定

1～12：前期　　13～24：後期

回	開始週	学習内容	スクーリング内容 （以下の中から選択して実施します）
1	4/11	１自己をみつめる（P5～11）	1. オリエンテーション・導入活動 ● 科目の目的と学習方法の説明 ● 日常生活における「ことば」の働きを考える ● 例：「言い換え」「伝わる・伝わらない」例を共有 2. 論理的な読み方の基礎 ● 筆者の主張と根拠をとらえる読み方（例：評論文） ● 接続表現の働き（しかし／つまり／たとえば など） 3. 情報の整理と要約 ● 段落構成を確認しながら、要点をまとめる練習 ● 短い文章を 50～80 字で要約 4. データ・資料の読み取り ● グラフ・図表から情報を読み取る練習 ● 言語による説明にまとめる活動（例：円グラフの説明） 5. 比較・対比の読解 ● ２つの立場や意見を比較して整理する ● 自分の意見をワークシートに記入する演習 6. 実用的文章の読解 ● 案内文・説明書・マニュアルなどの実用文の読み取り ● 情報の抜き出しや文構成の理解を確認する問題演習 7. 言葉の使い方・語彙の確認 ● 敬語、外来語、略語などの使用について考える活動 ● 「ら抜き言葉」「忖度」など時事的用語にもふれる
2	4/21	１自己をみつめる（P12～テスト）	
3	4/28	２他者に出会う（P23～32）	
4	5/12	２他者に出会う（P33～テスト）	
5	5/19	４視野を広げる（P67～77）	
6	5/26	４視野を広げる（P78～テスト）	
7	6/2	５社会と関わる（P93～109）	
8	6/9	５社会と関わる（P110～テスト）	
9	6/16	７世界とつながる（P141～149）	
10	6/30	７世界とつながる（P150～テスト）	
11	7/1	８未来に目を向ける（P165～178）	
12	7/7	８未来に目を向ける（P179～テスト）	
13	10/2	１自己をみつめる（P5～11）	
14	10/10	１自己をみつめる（P12～テスト）	
15	10/20	２他者に出会う（P23～32）	
16	10/27	２他者に出会う（P33～テスト）	
17	11/4	４視野を広げる（P67～77）	
18	11/10	４視野を広げる（P78～テスト）	
19	11/17	５社会と関わる（P93～109）	
20	12/1	５社会と関わる（P110～テスト）	
21	12/8	７世界とつながる（P141～149）	
22	12/15	７世界とつながる（P150～テスト）	
23	1/5	８未来に目を向ける（P165～178）	
24	1/13	８未来に目を向ける（P179～テスト）	

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
国語	言語文化	単位数：２	山田

指導目標

1.　実社会に必要な国語の知識や技能を身に着けるようにする。

2.　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

3.　言語がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

メディア学習	あり	東京書籍ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ講座	教科書	東京書籍　言文 701
スクーリング	必要時間数２単位時間以上		副教材	プリント教材ｅトレ
レポート	全６回	B4　６枚＋ｅラーニング	試験範囲	レポート第１回～第６回
単位認定試験	あり	評価割合　80%	評　定	100 点満点　５段階評定

1～12：前期　　13～24：後期

回	開始週	学習内容	スクーリング内容 （以下の中から選択して実施します）
1	4/11	１随筆 生きる喜び（P9～テスト）	1. オリエンテーション・日本語の歴史への導入 ● 「言語文化」とは何か ● 日本語の変化と多様性（例：話し言葉と書き言葉） 2. 古典文学への導入 ● かな文字の成立、和歌の特徴、古語のイメージをつかむ活動 ● 例：「いとをかし」「あはれ」とはどういう感覚かを考える 3. 古文読解①『徒然草』『枕草子』など随筆 ● 書き下し文＋語釈の読み取り ● 筆者の価値観と現代との比較（感想記入ワーク） 4. 和歌の味わいと表現技法 ● 枕詞・掛詞・序詞の説明と例歌の紹介 ● 「自分で作ってみる和歌ワーク」（形式自由） 5. 古文文法の基礎 ● 活用表（動詞・形容詞）と基本的な助動詞の解説 →「～けり」「～たり」「～ぬ」「～べし」など ● 口頭での文法クイズやカードゲーム形式で定着を図る 6. 伝統文化の体験的理解 ● 百人一首、漢詩、落語など日本文化との関わり紹介 ● 映像資料や音声教材を活用したイメージ形成
2	4/21	２小説１ 触れ合う心（P23～テスト）	
3	4/28	３詩歌 命をうたう（P49～61）	
4	5/12	３詩歌 命をうたう（P62～70）	
5	5/19	４小説２ 葛藤する心（P71～テスト）	
6	5/26	５小説３ 現実の向こう側（P93～テスト）	
7	6/2	１古文入門 古文の世界へ（P117～テスト）	
8	6/9	２随筆 ３詩歌（P137～168）	
9	6/16	４物語 古人の生き方（P169～テスト）	
10	6/30	５紀行 旅の心（P189～テスト）	
11	7/1	１漢文入門、２漢詩（P209～テスト）	
12	7/7	３論語、４史話（P237～テスト）	
13	10/2	１随筆 生きる喜び（P9～テスト）	
14	10/10	２小説１ 触れ合う心（P23～テスト）	
15	10/20	３詩歌 命をうたう（P49～61）	
16	10/27	３詩歌 命をうたう（P62～70）	
17	11/4	４小説２ 葛藤する心（P71～テスト）	
18	11/10	５小説３ 現実の向こう側（P93～テスト）	
19	11/17	１古文入門 古文の世界へ（P117～テスト）	
20	12/1	２随筆 ３詩歌（P137～168）	
21	12/8	４物語 古人の生き方（P169～テスト）	
22	12/15	５紀行 旅の心（P189～テスト）	
23	1/5	１漢文入門、２漢詩（P209～テスト）	
24	1/13	３論語、４史話（P237～テスト）	

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担　当　者
国語	論理国語 1、2	単位数：４	滝沢

指導目標
近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り、人生を豊かにする態度を育てる。
1.　文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価する。
2.　文章を読んで、書き手の意図や、人物、背景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わう。
3.　文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり、発展させたりする。
4.　目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現する。
5.　語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てる。

メディア学習	あり	東京書籍ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ講座	教科書	東京書籍　論国 701
スクーリング	必要時間数４単位時間以上		副教材	プリント教材ｅトレ
レポート	全 12 回	B4 12 枚＋ｅラーニング	試験範囲	レポート第１回～第６回
単位認定試験	あり	評価割合　80%	評　定	100 点満点　５段階評定

1～12：前期　　13～24：後期

回	開始週	学習内容	スクーリング内容 （以下の中から選択して実施します）
1	4/11	1 対話とは何か（P8～14）	1. オリエンテーション・導入活動 ● 論理国語の目的と学びのポイントを確認 ● 情報を「正しく受け取る」「伝える」力がなぜ必要か考える ● 日常の中の論理的なやり取りの例を出し合う 2. 論説文の読み方（主張・理由・具体例） ● 筆者の主張を見つける練習 ● 接続語（だから、しかし、たとえば など）の働き理解 ● 論理構造を図式化する活動（マッピング・要約） 3. 説明文・解説文の読解 ● 手順・原因・比較・因果関係をとらえる読解演習 ● 実用文（広報文、案内文、注意書き）の読み取り 4. 言葉の定義・抽象語と具体語 ● 言葉の意味を明確にとらえるトレーニング ● 抽象的な表現を具体的に言い換える練習 5. 情報の整理と要約 ● 短い評論文の要約（60～80 字） ● ワークシートを使った段落要点の整理 6. 書く活動（意見文の導入） ● テーマ例：「スマートフォンの使い方を考える」 ● 「主張＋理由＋具体例」で構成するミニ意見文
2	4/21	1 世界をつくり替えるために（P15～22）	
3	4/28	2 少女たちの「ひろしま」（P25～36）	
4	5/12	2「ふしぎ」ということ（P37～43）	
5	5/19	3 学ぶことと人間の知恵（P56～65）	
6	5/26	3 ラップトップ抱えた「石器人」（P66～72）	
7	6/2	4 思考の肺活量（P76～82）	
8	6/9	4 安心について（P83～91）	
9	6/16	5 弱肉強食は自然の摂理か（P102～113）	
10	6/30	5 複数の「わたし」（P114～121）	
11	7/1	6 はじめに「言葉」がある（P124～131）	
12	7/7	6 楽に働くこと、楽しく働くこと（P132～137）	
13	10/2	1 最初のペンギン（P168～175）	1. 前期の復習・論理構造の確認 ● 接続語／主張と理由の確認クイズ ● 簡単な評論文を使って論理構造を再整理 2. 複数の資料を比較して読む ● 例：A 新聞と B 新聞の記事／異なる立場の意見文 ● 内容・主張の違いを整理し、自分の意見をまとめる 3. 批評的な読解（メディア・広告・SNS の表現） ● 「一見正しそうに見えるが本当に正しいか？」 ● 批判的思考を育てる活動（バイアス・印象操作） 4. 書く活動（意見文の発展） ● テーマ例：「匿名での発信は認められるべきか」 ● 複数資料を参考にして自分の立場を明確にし、構成に注意して書く 5. 話し合い・表現活動 ● グループディスカッション：「学校にスマホは必要か？」 ● 「聞く→理解→話す→まとめる」一連の活動 6. 実用文を書く（報告書・要点まとめ） ● 日常生活や学校活動で使う実用文を書く ● 例：アンケートのまとめ・イベントレポート 7. まとめとふりかえり ● 学んだスキルを自分の生活や進路にどう活かせるかを考える ● ワークシートまたはポートフォリオ提出
14	10/10	1 豊かさと生物多様性（P176～183）	
15	10/20	2 物語の外から（P186～192）	
16	10/27	2 カフェの開店準備（P193～199）	
17	11/4	3 鏡としてのアンドロイド（P210～218）	
18	11/10	3 ロボットが隣人になるとき（P219～227）	
19	11/17	4 言葉は「物の名前」ではない（P232～239）	
20	12/1	4 科学的「発見」とは（P240～248）	
21	12/8	5 知識における作者性と構造性（P262～270）	
22	12/15	5 もう一つの知性（P271～279）	
23	1/5	6 ホンモノのおカネの作り方（P282～290）	
24	1/13	6 未来のありか（P291～301）	

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
国語	国語表現１、２	単位数：４	山田

指導目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

1.話題や題材に応じて情報を収集し、分析して、自分の考えをまとめたり深めたりする。

2.主張や感動などが効果的に伝わるように、論理の構成や描写の仕方などを工夫して書く。

3.目的や場面に応じて、言葉遣いや文体など表現を工夫して話したり書いたりする。

メディア学習	あり	東京書籍ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ講座	教科書	東京書籍　国表 702
スクーリング	必要時間数４単位時間以上		副教材	プリント教材ｅトレ
レポート	全６回	B4　６枚＋ｅラーニング	試験範囲	レポート第１回～第６回
単位認定試験	あり	評価割合　80%	評　定	100 点満点　５段階評定

１～12：前期　　13～24：後期

回	開始週	学習内容	スクーリング内容 （以下の中から選択して実施します）
1	4/11	１本にあたる（P1～14）	1. オリエンテーション・表現力とは？ ● 国語表現で育てたい力と学びの目的を確認 ● 「伝えるってどういうこと？」を考える導入ワーク 2. 伝わる文章の基本構成 ● 起承転結／序論・本論・結論の構成を学ぶ ● 例文をもとに、わかりやすい文・伝わりにくい文を比較 3. 目的に応じた書き方（説明文・報告文） ● 具体例：「部活動紹介」「アルバイト体験報告」など ● 読み手を意識して文を構成するトレーニング 4. 意見文の基礎 ● 主張＋理由＋具体例で書く意見文の練習 テーマ例：「学校にスマホは必要か」「制服は自由であるべきか」 5. 語彙力・表現力を高める活動 ● 同義語・対義語・敬語・丁寧語の使い分け ● 言い換えトレーニングや比喩表現の導入 6. 短文作成ワーク ● 「一言日記」「3 文自己紹介」など短くても的確な表現練習 ● フィードバック付きで自信を持たせる活動 7. 話す・聞く基礎 ● 短いスピーチ練習（1 分スピーチ）と傾聴活動 ● 相手に伝えることを意識した話し方の導入
2	4/21	２『枕草子』に参加してみる（P45～56）	
3	4/28	３医療という現場（P15～26）	
4	5/12	４メモをもとにしたスピーチ（P67～76）	
5	5/19	５一人で対する未知の世界（P27～34）	
6	5/26	６情報を整理して口頭で伝える（P77～84）	
7	6/2	７伝える力（P35～45）	
8	6/9	８主張の観点と根拠を考える（P85～92）	
9	6/16	９広告とレトリック（P57～66）	
10	6/30	10 時分の花と非成熟社会（P107～116）	
11	7/1	11『1・5』の関わり（P93～106）	
12	7/7	12 附録（P117～135）	
13	10/2	１本にあたる（P1～14）	1. 前期内容の確認・ブラッシュアップ ● 意見文や説明文の構成を再確認 ● 生徒の前期作品を共有してよい例を学ぶ 2. レポート・記録文の作成 ● 活動記録、見学記、作品紹介などの実用的な記述練習 ● 写真やメモをもとに報告文を作成する 3. 説得力ある表現を考える ● 比較・理由づけ・反論の技法を使った意見文演習 テーマ例：「自分にとって必要なルールとは」 4. 詩や自由表現の創作活動（希望者向け） ● 詩・短歌・エッセイなど自由な発信の場 ● 表現を「評価される」から「共感される」に変える指導 5. スピーチ・プレゼンテーション活動 ● 原稿作成→練習→発表（録音または動画でも可） ● テーマ例：「私が大切にしていること」「最近気づいたこと」 6. 他者の意見を聞いて深める ● 互いのスピーチや文章を読み合い、感想を述べる活動 ● 「伝わったこと／印象に残ったこと」を伝え合う 7. 学びのまとめ・ふりかえり ● スキルの変化を自己評価
14	10/10	２『枕草子』に参加してみる（P45～56）	
15	10/20	３医療という現場（P15～26）	
16	10/27	４メモをもとにしたスピーチ（P67～76）	
17	11/4	５一人で対する未知の世界（P27～34）	
18	11/10	６情報を整理して口頭で伝える（P77～84）	
19	11/17	７伝える力（P35～45）	
20	12/1	８主張の観点と根拠を考える（P85～92）	
21	12/8	９広告とレトリック（P57～66）	
22	12/15	10 時分の花と非成熟社会（P107～116）	
23	1/5	11『1・5』の関わり（P93～106）	
24	1/13	12 附録（P117～135）	

			● 「ことばで伝える力」を今後どのように活かすか記述

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
地理歴史	地理総合	単位数：２	太田

指導目標

1.　生活文化の多様性や地球的課題への取り組みを理解し、地理情報システムなどを用いて地理的技能を身に付ける。

2.　地理に関わる事象を多面的・多角的に考察し、地理的な課題の解決に向けて議論する力を養う。

3.　我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

メディア学習	あり	東京書籍ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ講座	教科書	東京書籍　地総701
スクーリング	必要時間数２単位時間以上		副教材	プリント教材ｅトレ
レポート	全６回	B4　６枚＋ｅラーニング	試験範囲	レポート第１回～第６回
単位認定試験	あり	評価割合　80%	評　定	100点満点　５段階評定

1～12：前期　　13～24：後期

回	開始週	学習内容	スクーリング内容 （以下の中から選択して実施します）
1	4/11	第１章 私たちが暮らす世界	1. オリエンテーション・導入活動 ● 「地理」とは何か？ どのような力を育てるか ● 自分の身近な地図・風景・気候についての意識調査 2. 地図の活用と空間認識 ● 緯度・経度／縮尺／地図記号の確認 ● 実習：Google マップ・地形図を使って地形・施設の読み取り 3. 地形と自然環境 ● 地形の種類（平野・山地・盆地・河川・海岸） ● 地震・火山・水害など自然災害と地形の関係 ● 活用例：ハザードマップの読み方 4. 気候のしくみと分布 ● 世界の気候帯と日本の気候の特徴 ● 年間降水量・気温グラフの読み方 ● 実習：気候グラフから都市を推定するゲーム 5. 環境と人間活動 ● 農業・漁業・森林などの自然利用と環境問題 ● 地球温暖化や砂漠化、資源の枯渇について考える 6. 地域調査の基礎 ● 地域調査とは何か？ 目的と手法（統計・聞き取り・写真） ● 自分の住む地域について「調べてみたいこと」を考える
2	4/21	第２章 地図や地理情報システムの役割	
3	4/28	第３章 資料から読み取る現代世界	
4	5/12	１節 地球環境問題	
5	5/19	２節 資源・エネルギー問題	
6	5/26	３節 人口問題　４節 食料問題	
7	6/2	５節 居住・都市問題　６節 民族問題	
8	6/9	７節 持続可能な社会の実現をめざして	
9	6/16	１節 日本の自然環境の特色	
10	6/30	２節 さまざまな自然災害と防災	
11	7/1	第２章 生活圏の調査と地域の展望	
12	7/7	総合問題にチャレンジ	
13	10/2	第１章 私たちが暮らす世界	
14	10/10	第２章 地図や地理情報システムの役割	
15	10/20	第３章 資料から読み取る現代世界	
16	10/27	１節 地球環境問題	
17	11/4	２節 資源・エネルギー問題	
18	11/10	３節 人口問題　４節 食料問題	
19	11/17	５節 居住・都市問題　６節 民族問題	
20	12/1	７節 持続可能な社会の実現をめざして	
21	12/8	１節 日本の自然環境の特色	
22	12/15	２節 さまざまな自然災害と防災	
23	1/5	第２章 生活圏の調査と地域の展望	
24	1/13	総合問題にチャレンジ	

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
地理歴史	地理探究 1、2	単位数：３	太田

指導目標

1.　生活文化の多様性や地球的課題への取り組みを理解し、地理情報システムなどを用いて地理的技能を身に付ける。

2.　地理に関わる事象を多面的・多角的に考察し、地理的な課題の解決に向けて議論する力を養う。

3.　我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

メディア学習	あり	東京書籍ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ講座	教科書	東京書籍　地探701
スクーリング	必要時間数３単位時間以上		副教材	プリント教材ｅトレ
レポート	全９回	B4９枚＋ｅラーニング	試験範囲	レポート第１回～第６回
単位認定試験	あり	評価割合　80%	評　定	100点満点　５段階評定

1～12：前期　　13～24：後期

回	開始週	学習内容	スクーリング内容 （以下の中から選択して実施します）
1	4/11	地理探究へのステップ　第１章１節 世界の地形	1. オリエンテーション・学びの全体像 ● 「探究」とは何か？ 「地理探究」で身につける力 ● 地図・統計・写真・記事をもとにした課題発見体験（例：「この地域の特色は？」） 2. 地理的技能の確認・強化 ● 地図（地形図／地理院地図／Google Earth）・グラフ・統計の読み取り ● 時系列・空間比較の手法 3. 世界の自然環境と地形・気候 ● プレート・気候帯・地形分類・植生と土地利用の関連 ● 地球温暖化や水資源などの地球的課題と自然環境のつながり 4. 世界の人口・都市・生活文化の多様性 ● 人口ピラミッド／都市化／交通ネットワークの読み取り ● 衛星画像・ランドサット画像の活用による都市の変化の観察 5. 探究活動①：地域比較・データ分析 ● テーマ例：「東京と大阪の都市構造の違いを調べよう」 ● 産業構成・交通・人口密度・土地利用などの統計を分析 ● 比較表や地図で可視化し、原因・背景を考察 6. 地域課題の考察とまとめ（発表準備） ● 地理情報をもとに仮説を立て、自分の考えを言語化する ● スライドや発表用プリント作成
2	4/21	２節 気候と自然環境　３節 気候と人々の生活	
3	4/28	４節 日本の自然環境と自然災害～第２章１節 産業の発展と社会的分業	
4	5/12	２節 農林水産業～４節 エネルギーと鉱産資源	
5	5/19	５節 資源・エネルギー問題～7節 第三次産業	
6	5/26	３章１節 交通・通信～４章１節 人口	
7	6/2		
8	6/9		
9	6/16		
10	6/30		
11	7/1		
12	7/7		
13	10/2	第４章２節 人口問題 ～４節 居住・都市問題	1. 前期の振り返り・探究の再構成 ● 自分が取り組んだ探究テーマの要点整理 ● 共有活動（生徒同士の発表・意見交換） 2. 世界の産業とグローバル化 ● 食料・エネルギー・資源の生産と流通 ● サプライチェーン／フードマイレージの地理的分析 3. 観光・情報社会と地域の変容 ● 世界の観光地の変化／人口減少地域の再生事例 ● GIS やスマートシティなど現代の空間情報の活用紹介 4. 探究活動②：地域課題解決の提案 ● テーマ例：「自分の地域の観光資源を活かすには」 ● 地形・歴史・交通・人口を踏まえて改善策を考案 ● 地図＋説明資料で提案書を作成 5. 地球的課題への応用と意見形成 ● 気候変動・食料危機・人口爆発などに対する国際的対応 ● 調査資料を比較し、自分の立場・意見を明確に述べる活動（探究型意見文） 6. 学びのまとめ・最終発表 ● 生徒の探究内容をポスター・スライド・口頭で発表 ● 相互評価とふりかえり記述
14	10/10	第５章１節 生活文化の地域性	
15	10/20	２節 民族・言語・宗教 ～４節 現代の国家と領土問題	
16	10/27	第１章１節 地域区分の意義と方法	
17	11/4	第２章１節 東アジア ～２節 東南アジア	
18	11/10	３節 南アジア	
19	11/17	４節 西アジア ～５節 北アフリカとサハラ以南アフリカ	
20	12/1	６節 ヨーロッパ	
21	12/8	７節 ロシア ～８節 アングロアメリカ	
22	12/15	９節 ラテンアメリカ	
23	1/5	10節 オセアニア　第３章１節 日本の地理的課題を読み解く	
24	1/13	第３章２節 持続可能な国土像の探究	

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
地理歴史	歴史総合	単位数：２	瀬口

指導目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を設定したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

メディア学習	あり	東京書籍ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ講座	教科書	東京書籍　歴総 701
スクーリング	必要時間数２単位時間以上		副教材	プリント教材ｅトレ
レポート	全６回	B4　６枚＋ｅラーニング	試験範囲	レポート第１回～第６回
単位認定試験	あり	評価割合　80%	評　定	100 点満点　５段階評定

1～12：前期　　13～24：後期

回	開始週	学習内容	スクーリング内容 （以下の中から選択して実施します）
1	4/11	第１章 歴史の扉	1. オリエンテーション・学びの視点確認 ● 「なぜ歴史を学ぶのか？」をテーマに導入 ● 世界史と日本史のつながりを意識する視点づくり 2. 近代化と産業革命（18～19 世紀） ● ヨーロッパにおける産業革命とその影響（資本主義・労働者の誕生） ● 日本の開国と近代化（明治維新） 3. 国民国家の形成と植民地支配 ● 欧米列強による帝国主義の展開 ● アジア・アフリカに与えた影響と抵抗運動 ● 日本の富国強兵と朝鮮・台湾への関わり 4. 民主主義と近代政治の発展 ● アメリカ独立革命・フランス革命の流れと思想（自由・平等・権利） ● 大日本帝国憲法と立憲国家の成立 5. 第一次世界大戦とその影響 ● 総力戦と新兵器、民衆社会の変化 ● 日本の参戦と戦後の国際秩序（ワシントン体制） 6. 資料活用と意見形成活動① ● テーマ例：「なぜ植民地は生まれたのか？」 ● 資料集・地図・条約文などから事実を読み取り、自分の考えを書く
2	4/21	１節 近代化への問い	
3	4/28	２節 結び付く世界と日本の開国	
4	5/12	３節 国民国家と明治維新	
5	5/19	４節 近代化と現代的な諸課題	
6	5/26	１節 国際秩序の変化や大衆化への問い	
7	6/2	２節 第一次世界大戦と大衆社会	
8	6/9	３節 経済危機と第二次世界大戦	
9	6/16	４節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	
10	6/30	１節 グローバル化への問い	
11	7/1	２節 冷戦と世界経済	
12	7/7	３節 世界秩序の変容と日本	
13	10/2	第１章 歴史の扉	
14	10/10	１節 近代化への問い	
15	10/20	２節 結び付く世界と日本の開国	
16	10/27	３節 国民国家と明治維新	
17	11/4	４節 近代化と現代的な諸課題	
18	11/10	１節 国際秩序の変化や大衆化への問い	
19	11/17	２節 第一次世界大戦と大衆社会	
20	12/1	３節 経済危機と第二次世界大戦	
21	12/8	４節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	
22	12/15	１節 グローバル化への問い	
23	1/5	２節 冷戦と世界経済	
24	1/13	３節 世界秩序の変容と日本	

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
地理歴史	日本史探究 1、2	単位数：3	伊藤

指導目標

我が国の歴史の展開について総合的な理解を深め、各時代の展開に関わる概念等を活用して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し、地域や日本、世界の歴史の関わりを踏まえ、現代の日本の諸課題とその展望を探究する力を養う。

メディア学習	あり	東京書籍ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ講座	教科書	東京書籍　日探701
スクーリング	必要時間数３単位時間以上		副教材	プリント教材ｅトレ
レポート	全９回	B4　９枚＋ｅラーニング	試験範囲	レポート第１回～第６回
単位認定試験	あり	評価割合　80%	評　定	100 点満点　５段階評定

1～12：前期　　13～24：後期

回	開始週	学習内容	スクーリング内容 （以下の中から選択して実施します）
1	4/11	第1編1章 先史社会の生活と文化～3章1節2. 飛鳥の朝廷と文化	1. オリエンテーション・探究の視点を知る ● 「なぜ日本史を学ぶのか」「探究とは何か」 ● 歴史を“暗記”ではなく“問いにする”ことを体感する導入ワーク 2. 日本の原始・古代：国家形成と東アジア ● 邪馬台国と倭の交流（中国史書の記述との比較） ● 大和政権～律令国家と中央集権の形成 ● 天皇制と仏教の受容 3. 中世社会：武士の登場と支配の構造 ● 平氏・源氏の台頭／鎌倉幕府の成立と御恩・奉公 ● 南北朝と室町幕府の多元的支配構造 ● 中世の民衆文化（宗教・自治・戦乱と信仰） 4. 近世社会：江戸幕府と社会の変容 ● 幕藩体制と身分制／鎖国と外交（オランダ・朝鮮通信使） ● 新田開発・商品流通と都市の発展 ● 国学・蘭学・庶民文化の広がり 5. 資料を使った探究活動① ● 古文書／絵図／法律文書などから社会のあり方を読み取る ● テーマ例：「江戸の生活は本当に“平和”だったのか？」 6. 発表・ふりかえり ● 資料分析に基づいた小レポート作成と共有 ● 生徒間での発見の共有・意見交換
2	4/21	3. 律令国家の形成と白鳳文化～2節 摂関政治と貴族文化	
3	4/28	第2編 中世の日本と世界～3章1節 武家政権の成立と朝廷	
4	5/12	2節 武家支配の広がりと国際交流～5. 室町文化	
5	5/19	第3編 近世の日本と世界～3章1節1. 江戸幕府と大名・朝廷	
6	5/26	2. 近世の身分と人々の暮らし～5. 幕藩体制下の社会の発展	
7	6/2		
8	6/9		
9	6/16		
10	6/30		
11	7/1		
12	7/7		
13	10/2	3章2節1. 享保の改革と経済の発展～2. 近世社会の成熟と危機の始まり	1. 幕末・維新と近代国家の形成 ● 開国と不平等条約／尊王攘夷と倒幕 ● 明治維新の改革（廃藩置県・徴兵制・教育制度） ● 富国強兵と文明開化 2. 近代化と戦争・国際関係 ● 日清・日露戦争／韓国併合とアジア支配 ● 大正デモクラシーと普通選挙運動 ● 昭和の軍部台頭と満州事変～太平洋戦争 3. 戦後改革と日本の歩み ● GHQ 改革／日本国憲法と象徴天皇制 ● 高度経済成長とその影響（公害／教育／都市化） 4. 現代の日本社会と歴史的背景 ● 平成・令和の日本：災害・外交・格差・多文化共生 ● 歴史的視点から「今の日本」をどう見るかを考える 5. 資料を使った探究活動② ● テーマ例：「昭和史の分岐点はどこにあったのか？」 ● 写真／新聞記事／証言／年表などを比較し、自分の見解を表現 6. 探究成果の発表・ふりかえり ● 生徒ごとの探究テーマを発表（スライド・レポート形式も可） ● 探究を通して得た視点や問いをふりかえる活動
14	10/10	3. 幕藩体制の立て直し～4. 幕藩体制の動揺	
15	10/20	第4編1章 近代社会の幕開け	
16	10/27	2章 歴史資料と近現代の展望～3章1節 近代的制度の導入と新しい国際関係	
17	11/4	2節 1. 立憲政治の成立～3. 産業革命と資本主義の定着	
18	11/10	4. 教育制度の整備と新しい文化～6. 日露戦争後の社会と政治	
19	11/17	3節 両大戦間期の日本	
20	12/1	4節 第二次世界大戦と日本	
21	12/8	5節 占領と改革	
22	12/15	6節 国際社会への復帰と高度経済成長	
23	1/5	7節 アジア情勢の変化と経済大国日本～8節 新しい国際秩序と日本の課題	
24	1/13	4章 近代の日本の課題の探究	

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
地歴歴史	世界史探究 1、2	単位数：3	瀬口

指導目標

「歴史総合」で学習した知識を基にして、古代から近世にかけての社会的事象に関する歴史的な見方や考え方を養い、世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的な条件や日本に歴史と関連付けながら、理解するとともに、地球社会の課題と展望を探究する力を養う。

メディア学習	あり	東京書籍ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ講座	教科書	東京書籍　世探 701
スクーリング	必要時間数３単位時間以上		副教材	プリント教材ｅトレ
レポート	全９回	B4　９枚＋ｅラーニング	試験範囲	レポート第１回～第６回
単位認定試験	あり	評価割合　80%	評　定	100 点満点　５段階評定

1～12：前期　　13～24：後期

回	開始週	学習内容	スクーリング内容 （以下の中から選択して実施します）
1	4/11	第１編１章 古代文明の出現	1. オリエンテーション・探究とは何か ● 世界史を「出来事の羅列」でなく、「つながり」「問い」で学ぶことの意義 ● 現代社会とつながる問いを立てる導入活動 例：「なぜ世界は“ひとつ”になったのか？」 2. 文明と宗教の成立と展開 ● メソポタミア・エジプト・インダス・中国文明の比較 ● 世界宗教（仏教・キリスト教・イスラム教など）の成立と拡大 ● 信仰・支配・文化との関係の探究 → 地図や建築物資料から文明の共通点と違いを考察 3. ヨーロッパとイスラームの交錯 ● ローマ帝国・ビザンツ・イスラーム帝国の広がり ● 十字軍と文化交流／科学・数学・医学の伝播 ● 資料活用：写本・建築・文物の比較 4. 中国・朝鮮・東南アジアの王朝と国際秩序 ● 中華思想と冊封体制 ● モンゴル帝国とユーラシアの交流 5. 大航海時代と植民地支配の始まり ● ヨーロッパの拡大とアメリカ・アジアの植民地化 ● 奴隷貿易・交易ネットワークの形成 6. 探究活動①：比較で読み解く文明の価値観 ● テーマ例：「古代文明の“都市”は何を示していたか」 ● 資料（都市遺跡・文字・制度）を読み比べ、意見をまとめる
2	4/21	2 章 1. 古代オリエントの統一～3. ローマ帝国と地中海世界	
3	4/28	4. 古代末期の社会と地中海世界の解体～7. 中世初期の東西ヨーロッパ	
4	5/12	3 章 南アジア～4 章 東南アジア	
5	5/19	5 章 1. 古代帝国の誕生～2. 中国の分裂と多様化	
6	5/26	3. 隋唐帝国と東アジア～6 章 アフリカ,オセアニア,古アメリカ	
7	6/2		
8	6/9		
9	6/16		
10	6/30		
11	7/1		
12	7/7		
13	10/2	7 章 イスラーム世界の拡大と繁栄～8 章 1. 中世ヨーロッパ社会の展開	1. 近代市民社会と革命 ● ルネサンス・宗教改革・啓蒙思想とその影響 ● アメリカ独立革命・フランス革命と人権思想 ● 思想・制度の広がり（日本や植民地への波及） 2. 産業革命と帝国主義 ● ヨーロッパ中心の世界秩序の成立 ● アジア・アフリカの植民地化と現地社会の変容 3. 二つの世界大戦と国際秩序の変化 ● 第一次世界大戦と民族自決／戦後の国際協調（国際連盟） ● 第二次世界大戦とホロコースト・核兵器・冷戦の始まり 4. 冷戦・脱植民地化・グローバル化 ● 米ソ対立・アジア・中東・アフリカの独立運動 ● 冷戦終結と世界の多極化、経済・文化のグローバル化 5. 探究活動②：世界の出来事をつなげて考える ● テーマ例：「人権思想は世界を変えたか？」 ● 憲法・宣言・抗議運動などを比較・分析 6. 発表とふりかえり ● 探究テーマに基づいたミニ発表（スライド・口頭・レポート） ● 例：「“帝国”はなぜ崩壊したのか」「世界史における“日本”の位置」
14	10/10	2. 中世西ヨーロッパ社会の成熟～5. ルネサンス	
15	10/20	9 章 中華世界の変容とモンゴル帝国	
16	10/27	11 章 大交易時代と世界の一体化	
17	11/4	12 章 ユーラシア諸帝国の繁栄	
18	11/10	13 章 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大	
19	11/17	14 章 国民国家と近代社会の形成	
20	12/1	15 章 世界市場の形成とアジア諸国の変容	
21	12/8	16 章 アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行	
22	12/15	17 章 第一次世界大戦の展開と諸地域の変容	
23	1/5	18 章 国際秩序体制の動揺と第二次世界大戦～19 章 第二次世界大戦と戦後の東アジア	
24	1/13	20 章 冷戦の世界化と国際制度～21 章 冷戦の変容・終結と経済のグローバル化	

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
公民	公共	単位数：２	井手

指導目標
人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ，現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
１．諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べ まとめる技能を身に付ける。
２．選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力を養う。
３．現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権を担う公民としての自覚などを深める。

メディア学習	あり	東京書籍ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ講座	教科書	東京書籍　公共 701
スクーリング	必要時間数２単位時間以上		副教材	プリント教材ｅトレ
レポート	全６回	B4　６枚＋ｅラーニング	試験範囲	レポート第１回～第６回
単位認定試験	あり	評価割合　80%	評　定	100 点満点　５段階評定

１～12：前期　　13～24：後期

回	開始週	学習内容	スクーリング内容 （以下の中から選択して実施します）
1	4/11	１章　公共的な空間をつくる私たち―社会のなかの自己	1. オリエンテーション・公共とは何か ● 「公共」という言葉の意味と、現代社会における役割 ● 自分の生活と社会制度とのつながりを意識する導入活動 例：「学校生活の中にある“ルール”と“自由”」 2. 個人の尊厳と人権の歴史 ● 基本的人権の考え方（自由権・社会権・参政権など） ● 日本国憲法と世界の人権思想の歩み ● 活用資料：憲法前文／世界人権宣言など 3. 民主主義と主権者の役割 ● 民主主義の原則（国民主権・多数決・権力分立） ● 選挙制度・政治参加の方法（投票、請願、住民運動） ● 模擬投票や選挙公報の読み取り活動 4. 日本の政治制度と市民の関係 ● 三権分立、国会・内閣・裁判所の役割 ● 地方自治と私たちのくらし ● ワーク：「自分が住む自治体の予算と施策を調べる」 5. 社会のルールと法の役割 ● 法律と道徳／刑法と民法の違い ● 未成年者と契約／ネットトラブル・肖像権などの事例学習 6. 資料活用・意見形成① ● テーマ例：「表現の自由はどこまで認められるか」 ● 資料や事例をもとに、自分の意見をまとめて発表
2	4/21	２章　公共的な空間における人間としての在り方生き方―共に生きるための倫理	
3	4/28	３章　公共的な空間における基本的原理―私たちの民主的な社会	
4	5/12	１章　民主政治と私たち	
5	5/19	２章　法の働きと私たち	
6	5/26	２章　法の働きと私たち	
7	6/2	３章　経済社会で生きる私たち	
8	6/9	３章　経済社会で生きる私たち	
9	6/16	４章　私たちの職業生活	
10	6/30	５章　国際社会のなかで生きる私たち　テーマ１・２	
11	7/1	５章　国際社会のなかで生きる私たち　テーマ３・４	
12	7/7	第３部　持続可能な社会づくりに参画するために	
13	10/2	１章　公共的な空間をつくる私たち―社会のなかの自己	
14	10/10	２章　公共的な空間における人間としての在り方生き方―共に生きるための倫理	
15	10/20	３章　公共的な空間における基本的原理―私たちの民主的な社会	
16	10/27	１章　民主政治と私たち	
17	11/4	２章　法の働きと私たち	
18	11/10	２章　法の働きと私たち	
19	11/17	３章　経済社会で生きる私たち	
20	12/1	３章　経済社会で生きる私たち	
21	12/8	４章　私たちの職業生活	
22	12/15	５章　国際社会のなかで生きる私たち　テーマ１・２	
23	1/5	５章　国際社会のなかで生きる私たち　テーマ３・４	
24	1/13	第３部　持続可能な社会づくりに参画するために	

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
公民	倫理	単位数：２	井手

指導目標

人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追及したり、他者とともによりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに、多目的・多角的な考察やよりよい深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。

メディア学習	あり	東京書籍ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ講座	教科書	東京書籍　倫理 701
スクーリング	必要時間数２単位時間以上		副教材	プリント教材ｅトレ
レポート	全６回	B4　６枚＋ｅラーニング	試験範囲	レポート第１回～第６回
単位認定試験	あり	評価割合　80%	評　定	100 点満点　５段階評定

１～12：前期　　13～24：後期

回	開始週	学習内容	スクーリング内容 （以下の中から選択して実施します）
1	4/11	１節　青年期の意義	1. オリエンテーション・倫理とは何か ● 「倫理＝モラル」だけではない。人間とは？社会とは？を問い直す ● 導入活動：問いかけカード「あなたにとって“よい”とは？」 2. 青年期の特徴と自己形成 ● 心理的発達／アイデンティティ／葛藤と選択 ● 実習：ロールモデルシート、将来の自分マップ作成 3. 古代の哲学と人間観①（西洋） ● ソクラテス・プラトン・アリストテレス ● 「善とは？正義とは？幸福とは？」という問い ● 思考実験：「正しいことと自分のしたいことは違う？」 4. 古代の哲学と人間観②（東洋） ● 仏教（釈迦）・儒教（孔子）・道教（老子）の基本思想 ● キーワード：慈悲・中庸・礼・無為自然 など ● 比較活動：「東洋と西洋の“よい生き方”の違いは？」 5. 中世～近代の思想 ● キリスト教的世界観と宗教改革 ● 近代の人間観（デカルト・カント・ルソーなど） ● 実践活動：あなたならどうする？ジレンマカード 6. 倫理的思考のトレーニング ● 意見が割れるテーマに対して、「立場を変えて考える」 ● テーマ例：「命の選択」「SNS 上の自由と責任」など
2	4/21	２節　青年期の課題と生き方	
3	4/28	１節　人間とは何か～３節　キリスト教	
4	5/12	４節　イスラーム～５節　仏教	
5	5/19	６節　中国の思想～７節　芸術と人間	
6	5/26	１節　日本人の精神風土～４節　国学の思想	
7	6/2	５節　庶民の思想～６節　西洋思想と日本人の近代化	
8	6/9	７節　国際社会に生きる日本人の自覚	
9	6/16	第４章　現代を生きる人間の倫理	
10	6/30	１節　生命～３節　地域社会	
11	7/1	４節　情報社会～５節　文化と宗教	
12	7/7	６節　環境～７節　国際平和と人類の福祉	
13	10/2	１節　青年期の意義	
14	10/10	２節　青年期の課題と生き方	
15	10/20	１節　人間とは何か～３節　キリスト教	
16	10/27	４節　イスラーム～５節　仏教	
17	11/4	６節　中国の思想～７節　芸術と人間	
18	11/10	１節　日本人の精神風土～４節　国学の思想	
19	11/17	５節　庶民の思想～６節　西洋思想と日本人の近代化	
20	12/1	７節　国際社会に生きる日本人の自覚	
21	12/8	第４章　現代を生きる人間の倫理	
22	12/15	１節　生命～３節　地域社会	
23	1/5	４節　情報社会～５節　文化と宗教	

24	1/13	6節　環境～7節　国際平和と人類の福祉	

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
公民	政治・経済	単位数：２	瀬口

指導目標

現実社会の諸事象に関する学習活動を通して，社会の在り方についての見方・考え方を働かせ,現代の諸課題を追及したり解決に向け構想したりする活動を行い,グローバル化する国際社会の中で主体的に生きる公民としての資質・能力を涵養する。

メディア学習	あり	東京書籍ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ講座	教科書	東京書籍　政経 701
スクーリング	必要時間数２単位時間以上		副教材	プリント教材ｅトレ
レポート	全６回	B4　６枚＋ｅラーニング	試験範囲	レポート第１回～第６回
単位認定試験	あり	評価割合　80%	評　定	100 点満点　５段階評定

1～12：前期　　13～24：後期

回	開始週	学習内容	スクーリング内容 （以下の中から選択して実施します）
1	4/11	１節　民主政治の基本原理	1. オリエンテーション・導入活動 ● 「政治・経済を学ぶ意味」を考える（例：18 歳で選挙権を持つことの重み） ● 現代社会で「政治」「経済」が関係している場面を探すワーク 2. 民主主義と日本国憲法 ● 基本的人権・三権分立・平和主義のしくみ ● 憲法改正の手続きや論点を事例で考える ● 憲法前文・第９条などを読み、意見を持つ活動 3. 日本の政治機構 ● 国会・内閣・裁判所の役割と仕組み ● 地方自治の特徴と私たちのくらしとの関係 ● 自治体の予算や選挙のしくみを調べるワーク 4. 選挙と政党 ● 選挙制度の種類（小選挙区・比例代表） ● 政党政治とマニフェストの読み方 ● 模擬選挙または政党比較のグループワーク 5. 国際政治と日本の立場 ● 国際連合の役割／安全保障／外交政策 ● グローバル化する世界と日本の課題（ODA・人道支援） 6. 資料活用・意見形成① ● テーマ例：「18 歳が投票する意味とは？」 ● 選挙公報や候補者の主張を読み、自分の意見をまとめる
2	4/21	２節　日本国憲法の基本原理	
3	4/28	３節　日本の政治機構	
4	5/12	４節　現代政治の特質と課題	
5	5/19	５節　現代の国際政治	
6	5/26	１節　現代の資本主義経済	
7	6/2	２節　現代経済のしくみ	
8	6/9	３節　日本経済の発展と産業構造の変化	
9	6/16	４節　福祉社会と日本経済の課題	
10	6/30	５節　国民経済と国際経済	
11	7/1	１節　日本社会の諸課題	
12	7/7	２節　国際社会の諸課題	
13	10/2	１節　民主政治の基本原理	
14	10/10	２節　日本国憲法の基本原理	
15	10/20	３節　日本の政治機構	
16	10/27	４節　現代政治の特質と課題	
17	11/4	５節　現代の国際政治	
18	11/10	１節　現代の資本主義経済	
19	11/17	２節　現代経済のしくみ	
20	12/1	３節　日本経済の発展と産業構造の変化	
21	12/8	４節　福祉社会と日本経済の課題	
22	12/15	５節　国民経済と国際経済	

23	1/5	1節　日本社会の諸課題	
24	1/13	2節　国際社会の諸課題	

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
数学	数学Ⅰ-1、Ⅰ-2	単位数：4	新開

指導目標
数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
1.　各章の基本的な概念や原理・法則を理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に処理したりする技能を身に付けるようにする。
2.　数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を考察し判断したりする力を養う。
3.　数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

メディア学習	あり	東京書籍ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ講座	教科書	東京書籍　数Ⅰ704
スクーリング	必要時間数４単位時間以上		副教材	プリント教材ｅトレ
レポート	全12回	B4 12枚＋ｅラーニング	試験範囲	レポート第１回～第６回
単位認定試験	あり	評価割合　80%	評　定	100点満点　５段階評定

1～12：前期　　13～24：後期

回	開始週	学習内容	スクーリング内容 （以下の中から選択して実施します）
1	4/11	1節 文字と式（P32～P36）	1. オリエンテーション・数学Ⅰの全体像の把握 ● 単元一覧と日常生活・進路との関係 ● 数学への苦手意識をほぐす導入アクティビティ（例：簡単な数字当てゲーム） 2. 数と式（展開・因数分解・式の値） ● 式の展開（乗法公式）と因数分解の基本 ● 式の値を求める問題（代入計算） ● 活用：商品の割引計算・売上モデル式の構築 3. 1次方程式・2次方程式 ● 解の公式を使った解法 ● 因数分解との連携、判別式の意味 ● 活用：グラフと解の関係、生活場面での数量の問題 4. 不等式とその活用 ● 解法・数直線での表現 ● 範囲指定・条件判断の問題（例：時給計算の範囲設定） 5. 実数の概念・平方根 ● √の計算と無理数の考え方 ● 小数・分数と実数の関係 6. グラフの読み取り（1次・2次関数の基本） ● 座標・グラフの形の確認 ● 実生活での応用例（温度・料金・距離など）
2	4/21	1節 文字と式（P37～P41）	
3	4/28	1節 文字と式（P42～P45）	
4	5/12	1節 文字と式 2節 実数（P46～P51）	
5	5/19	2節 実数（P52～55）	
6	5/26	2節 実数 3節 方程式（P56～61）	
7	6/2	3節 方程式と不等式（P62～67）	
8	6/9	3節 方程式と不等式（P68～テスト）	
9	6/16	1節 データの分析（P130～135）	
10	6/30	1節 データの分析（P136～139）	
11	7/1	1節 データの分析（P140～145）	
12	7/7	1節 データの分析（P146～テスト）	
13	10/2	1節 2次関数とそのグラフ（P74～81）	1. 前期の復習 ● 2次方程式・不等式・展開の復習問題 ● 簡単な確認テストやピアレビュー活動（ペア解説） 2. 図形の性質と計量 ● 三角形の合同・相似の条件 ● 三平方の定理と座標の活用（距離の計算） ● 活用：地図・設計・ナビなどの計算例 3. 2次関数 ● グラフの特徴（軸・頂点・開き方） ● 利用場面：投げたボールの軌道、収益曲線の概念など ● 変域と値域の理解 4. データの分析 ● 平均・中央値・最頻値の求め方 ● 分散・標準偏差の基礎 ● ヒストグラムや散布図の読み取り 5. 数学的な見方・考え方の育成 ● 文章題を図や式で整理する練習 ● モデルを使って論理的に説明する活動（例：「なぜこの式になるのか？」を解説する） 6. 学びのまとめと振り返り ● 通年の内容からの復習問題 ● 苦手だった単元のセルフチェックと再解説 ● 「生活に活かす数学」をテーマにした自由記述（感想・活用例）
14	10/10	1節 2次関数とそのグラフ（P80～87）	
15	10/20	1節 2次関数とそのグラフ（P88～91）	
16	10/27	2節 2次関数の値の変化（P92～95）	
17	11/4	2節 2次関数の値の変化（P96～テスト）	
18	11/10	1節 鋭角の三角比（P104～111）	
19	11/17	1節 鋭角の三角比（P112～116）	
20	12/1	2節 三角比の応用（P117～120）	
21	12/8	2節 三角比の応用（P121～125）	
22	12/15	2節 三角比の応用（P126～テスト）	
23	1/5	1節 集合と論証（P150～155）	
24	1/13	1節 集合と論証（P156～テスト）	

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担　当　者
数学	数学Ⅱ-1、Ⅱ-2	単位数：４	大津

指導目標
数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
1.　各章の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に処理したりする技能を身に付けるようにする。
2.　等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力，方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりする力，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。
3.　数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

メディア学習	あり	東京書籍ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ講座	教科書	東京書籍　数Ⅱ717
スクーリング	必要時間数４単位時間以上		副教材	プリント教材ｅトレ
レポート	全12回	B4 12枚	試験範囲	レポート第１回～第６回
単位認定試験	あり	評価割合　80%	評　定	100点満点　５段階評定

1～12：前期　　13～24：後期

回	開始週	学習内容	スクーリング内容 （以下の中から選択して実施します）
1	4/11	1節 式の計算（P4～9）	**1. オリエンテーション・全体構成の確認** ● **数学Ⅱで学ぶ内容の概観** ● **数学Ⅰとのつながり（2次関数・因数分解など）を確認** **2. 式と証明** ● **展開・因数分解の応用（多項式の除法）** ● **恒等式と係数比較による証明** ● **活用：文字式の操作による関係整理（計画や予算の計算モデル）** **3. 方程式と高次関数** ● **2次関数・3次関数のグラフと式** ● **因数定理・解と係数の関係** ● **実生活でのモデル化（売上と利益の関係など）** **4. 指数・対数** ● **指数法則とその意味** ● **対数の定義と基本計算** ● **活用例：音の大きさ（デシベル）・地震のマグニチュードなどの計算** **5. 指数関数・対数関数** ● **グラフの特徴（漸近線・増減など）** ● **関数の性質と変化の割合の見方** **6. 数列の基本** ● **等差数列・等比数列の公式と計算練習** ● **日常での活用例：支払い分割・利息の計算・積立モデル**
2	4/21	1節 式の計算（P10～14）	
3	4/28	2節 2次方程式（P15～19）	
4	5/12	2節 2次方程式（P20～23）	
5	5/19	3節 高次方程式（P24～29）	
6	5/26	4節 式と証明（P30～31，34～37）	
7	6/2	1節 座標と直線の方程式（P38～47）	
8	6/9	1節 座標と直線の方程式（P48～54）	
9	6/16	2節 円の方程式（P55～63）	
10	6/30	1節 三角関数（P66～71）	
11	7/1	1節 三角関数（P72～77）	
12	7/7	2節 加法定理（P78～83）	
13	10/2	1節 指数関数（P86～89）	**1. 前期内容の確認と復習** ● 前期の文法・語彙の確認クイズ ● 前期に作成した自己紹介や日記の発表 **2. 応用的な会話練習** ● 買い物、道案内、食事注文などのシチュエーション英会話 ● 英語のカードを使ったペアアクティビティ **3. 文法の発展：過去形・未来表現** ● be 動詞・一般動詞の過去形、will や be going to の導入 ● 「昨日したこと」「将来の予定」を英語で表現 **4. 短文読解（やや長めのテキスト）** ● 海外の学校生活、友人とのやりとりなど身近な話題 ● 読解後に内容をまとめるワーク（日本語または英語） **5. 簡単なプレゼン・発表活動** ● テーマ例：「My Favorite Food」「My Daily Routine」 ● 原稿作成と発表練習、動画撮影も可 **6. 英語での Q&A 練習** ● 質問のしかた・答え方のパターンを学習 ● 「What time～?」「How many～?」などの基本表現 **7. リスニング応用** ● 少し長めの会話を聞いて、要点をメモ 選択問題や並べ替え問題で理解度確認
14	10/10	1節 指数関数（P90～93）	
15	10/20	2節 対数関数（P94～97）	
16	10/27	2節 対数関数（P98～101）	
17	11/4	2節 対数関数（P101～103，106～107）	
18	11/10	1節 微分係数と導関数（P108～113）	
19	11/17	1節 微分係数と導関数（P114～118）	
20	12/1	2節 導関数の応用（P119～121）	
21	12/8	2節 導関数の応用（P122～123）	
22	12/15	3節 積分（P124～127）	
23	1/5	3節 積分（P128～129）	
24	1/13	3節 積分（P130～132）	

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
数学	数学Ⅲ-1、Ⅲ-2	単位数：４	中川

指導目標
数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
1.　各章の概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を記号化したり，数学的に解釈したり，数学的に処理したりする技能を身に付けるようにする。
2.　極限について考察したり，関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し，数学的に考察したりする力，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。
3.　微分については数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。また、高校で習ったすべての関数に慣れ、グラフを描けることを目標にする。

メディア学習	あり	東京書籍ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ講座	教科書	東京書籍　数Ⅲ302
スクーリング	必要時間数４単位時間以上		副教材	プリント教材ｅトレ
レポート	全 12 回	B4 12 枚	試験範囲	レポート第１回～第６回
単位認定試験	あり	評価割合　80%	評　定	100 点満点　５段階評定

1～12：前期　　13～24：後期

回	開始週	学習内容	スクーリング内容 （以下の中から選択して実施します）
1	4/11	1 節 ２次曲線（P6～16）	1. オリエンテーションと全体構成の把握 ● 数学Ⅲの単元一覧と学習戦略（微分積分が中心） ● 数学Ⅱとの接続確認（関数・グラフ・三角関数の基礎） 2. 極限（lim）の導入と計算 ● x → a, x → ∞ の基本的な極限計算 ● 無限小・無限大の理解と簡単な ε-δ の考え方（発展） 3. 微分法の基礎 ● 微分係数・導関数の定義 ● 基本関数（x^n, sinx, cosx, ex, logx など）の導関数 ● 合成関数・積・商の微分公式 4. 微分の活用①：関数の増減・極値・グラフの概形 ● 単調増減と極大・極小 ● 凸凹・変曲点の理解とグラフの形の考察 5. 三角関数・指数・対数関数の微分 ● y = sinx, cosx, tanx, ex, logx の微分 ● グラフの増減・最大最小の解析 6. 接線の方程式・変化の割合 ● 点における接線の方程式を求める演習 ● 実用場面：速度・変化量のモデル化
2	4/21	1 節 ２次曲線（P17～20）	
3	4/28	2 節 媒介変数表示と極座標（P22～35）	
4	5/12	1 節 複素数平面（P38～47）	
5	5/19	1 節 複素数平面（P49～52）	
6	5/26	1 節 複素数平面（P53～63）	
7	6/2	1 節 関数（P66～73）	
8	6/9	1 節 関数（P74～77）	
9	6/16	2 節 数列の極限（P79～89）	
10	6/30	2 節 数列の極限（P90～96）	
11	7/1	3 節 関数の極限（P98～105）	
12	7/7	3 節 関数の極限（P106～117）	
13	10/2	1 節 微分法（P120～131）	1. 積分法の基礎 ● 不定積分・定積分の定義と公式 ● 置換積分・部分積分（入試基礎レベル） ● 積分と面積・体積の応用（回転体など） 2. 微積分の関係と応用 ● 微分と積分の関係（基本定理） ● グラフの面積・図形問題への応用 ● 応用例：物理・経済のモデル（速度・変位・収益曲線） 3. 複素数平面 ● 複素数の表示（a + bi と極形式） ● 回転・ド・モアブルの定理 ● 方程式の解と複素数の位置関係 4. 微分の活用②：関数の近似とテイラー展開（導入） ● 接線による近似 ● テイラー多項式の基本的考え方（必要に応じて） 5. 積分の応用②：体積・平均値・速度 ● 回転体の体積／平均値の定理 ● 確率密度関数への応用（導入） 6. 総合演習・記述型対策 ● 共通テスト・大学入試問題（基礎～標準）の演習 ● 「どう考えたか」を記述する練習
14	10/10	2 節 いろいろな関数の導関数（P132～141）	
15	10/20	1 節 接線，関数の増減（P146～153）	
16	10/27	1 節 接線，関数の増減（P154～161）	
17	11/4	2 節 いろいろな微分の応用（P162～177）	
18	11/10	1 節 不定積分（P180～187）	
19	11/17	1 節 不定積分（P188～192）	
20	12/1	2 節 定積分（P193～198）	
21	12/8	2 節 定積分（P193～202）	
22	12/15	3 節 定積分の応用（P204～207）	
23	1/5	3 節 定積分の応用（P208～211）	
24	1/13	3 節 定積分の応用（P212～230）	

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
数学	数学Ａ	単位数：２	新開

指導目標
数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
1．各章の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に処理したりする技能を身に付けるようにする。
2．図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養う。
3．数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

メディア学習	あり	東京書籍ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ講座	教科書	東京書籍　数Ａ704
スクーリング	必要時間数２単位時間以上		副教材	プリント教材ｅトレ
レポート	全６回	B4　６枚＋ｅラーニング	試験範囲	レポート第１回～第６回
単位認定試験	あり	評価割合　80%	評　定	100 点満点　５段階評定

1～12：前期　　13～24：後期

回	開始週	学習内容	スクーリング内容 （以下の中から選択して実施します）
1	4/11	１節 場合の数（P4～7）	1. オリエンテーション・学習単元の確認 ● 数学Ａで学ぶ内容と生活との関わり ● 数え方の重要性や確率の身近な例紹介（くじ・ゲーム・天気予報など） 2. 場合の数①：樹形図と表の活用 ● 選び方・並べ方の基本 ● 順列（nPr）の概念と具体的な活用場面 ○ 例：パスワードの組み合わせ、座席の並び方 3. 場合の数②：組合せ（nCr） ● 「選ぶ」ことに着目した数え方の導入 ● 活用例：班の組み方、宝くじの当選パターンなど 4. 確率の基礎 ● 全体の事象とその中の「成功する」事象の割合 ● 基本問題とくじ・サイコロ・カードの問題演習 5. 条件付き確率・反復試行（必要に応じて） ● 「〇〇であるときの確率」 ● コインを３回投げる／サイコロ２個／くじの抽出など 6. 場合の数と確率の活用問題 ● ゲームやくじ引きの確率、トーナメント表の組み方 ● 実生活への応用を考える活動（天気予報、AI の選択確率など）
2	4/21	１節 場合の数（P8～14）	
3	4/28	１節 場合の数（P15～19）	
4	5/12	１節 場合の数（P20～21）	
5	5/19	２節 確率（P22～25）	
6	5/26	２節 確率（P26～29）	
7	6/2	２節 確率（P30～33）	
8	6/9	２節 確率（P34～テスト）	
9	6/16	１節 平面図形の基礎（P40～49）	
10	6/30	２節 三角形の性質（P50～57）	
11	7/1	３節 円の性質（P58～69）	
12	7/7	４節 空間図形（P70～テスト）	
13	10/2	１節 場合の数（P4～7）	
14	10/10	１節 場合の数（P8～14）	
15	10/20	１節 場合の数（P15～19）	
16	10/27	１節 場合の数（P20～21）	
17	11/4	２節 確率（P22～25）	
18	11/10	２節 確率（P26～29）	
19	11/17	２節 確率（P30～33）	
20	12/1	２節 確率（P34～テスト）	
21	12/8	１節 平面図形の基礎（P40～49）	
22	12/15	２節 三角形の性質（P50～57）	
23	1/5	３節 円の性質（P58～69）	
24	1/13	４節 空間図形（P70～テスト）	

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
数学	数学Ｂ	単位数：２	大津

指導目標
数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
1．各章の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活との関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に処理したりする技能を身に付けるようにする。
2．事象を数学的に表現し考察する力，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。
3．数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

メディア学習	あり	東京書籍ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ講座	教科書	東京書籍　数Ｂ702
スクーリング	必要時間数２単位時間以上		副教材	プリント教材ｅトレ
レポート	全６回	B4　６枚	試験範囲	レポート第１回～第６回
単位認定試験	あり	評価割合　80%	評　定	100 点満点　５段階評定

1～12：前期　　13～24：後期

回	開始週	学習内容	スクーリング内容 （以下の中から選択して実施します）
1	4/11	１節 数列（P10～14）	1．オリエンテーション・単元構成の確認 ● 数学Ｂの学習目的と「数列」「ベクトル」の役割紹介 ● 数列は「時間の中の変化」を、ベクトルは「空間の中の量」を表す 2．等差数列 ● 定義・一般項・和の公式の理解と演習 ● 活用例：支払いの分割・階段の段数・貯金額の推移など 3．等比数列 ● 一般項・和・収束の考え方 ● 活用例：利子計算・人口増加・ウイルス感染モデルなど 4．漸化式と階差数列 ● 初項と漸化式から一般項を求める方法 ● 階差を使った解法の導入 5．数列の応用問題 ● Σ記号を使った和の表現と計算 ● 整数的帰納法（導入的に触れる） 6．数列の学びのまとめ ● 文章題や日常的事象を数列でモデル化 ● 例：「階段をのぼる」「投資計画」などを数式化
2	4/21	１節 数列（P15～19）	
3	4/28	１節 数列（P20～25）	
4	5/12	２節 いろいろな数列（P27～32）	
5	5/19	２節 いろいろな数列（P33～39）	
6	5/26	３節 漸化式と数学的帰納法（P42～50）	
7	6/2	１節 標本調査（P60～64）	
8	6/9	２節 確率分布（P64～70）	
9	6/16	２節 確率分布（P70～76）	
10	6/30	2節 確率分布 3節 正規分布（P77～80，82～84）	
11	7/1	３節 正規分布（P85～89）	
12	7/7	４節 統計的な推測（P92～106）	
13	10/2	１節 数列（P10～14）	
14	10/10	１節 数列（P15～19）	
15	10/20	１節 数列（P20～25）	
16	10/27	２節 いろいろな数列（P27～32）	
17	11/4	２節 いろいろな数列（P33～39）	
18	11/10	３節 漸化式と数学的帰納法（P42～50）	
19	11/17	１節 標本調査（P60～64）	
20	12/1	２節 確率分布（P64～70）	
21	12/8	２節 確率分布（P70～76）	
22	12/15	2節 確率分布 3節 正規分布（P77～80，82～84）	
23	1/5	３節 正規分布（P85～89）	
24	1/13	４節 統計的な推測（P92～106）	

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
数学	数学Ｃ	単位数：２	中川

指導目標
数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
1．各章の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活との関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に処理したりする技能を身に付けるようにする。
2．事象を数学的に表現し考察する力，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。
3．数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

メディア学習	あり	東京書籍ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ講座	教科書	東京書籍　数Ｃ702
スクーリング	必要時間数２単位時間以上		副教材	プリント教材ｅトレ
レポート	全６回	B4　６枚	試験範囲	レポート第１回～第６回
単位認定試験	あり	評価割合　80%	評　定	100 点満点　５段階評定

1～12：前期　　13～24：後期

回	開始週	学習内容	スクーリング内容 （以下の中から選択して実施します）
1	4/11	１章 ベクトル（P10～24）	1. オリエンテーションと学習全体像の確認 ● 数学Ｃの位置づけと学ぶ単元の紹介 ● 数学Ｂまでの知識とのつながり（ベクトル・関数） 2. 複素数平面①：複素数とその表現 ● a＋bi の意味と実数・虚数軸の表現 ● 複素数の加法・減法・乗法の演習 3. 複素数平面②：極形式・ド・モアブルの定理 ● r(cosθ ＋i sinθ) での表現 ● n 乗・n 乗根の計算（図示中心） 4. 複素数の図形的意味 ● 回転・対称移動としての複素数の利用 ● 図形問題への応用（例：正多角形の回転） 5. 平面ベクトルの復習と応用 ● 成分表示、加法・内積・垂直条件 ● ベクトル方程式による図形の位置関係（直線の表現など） 6. ベクトルを使った図形の性質 ● 三角形の重心・面積・中点・平行線の証明 ● 論理的に図形関係を導く力の育成
2	4/21	１章 ベクトル（P25～33）	
3	4/28	１章 ベクトル（P34～47）	
4	5/12	１章 ベクトル（P48～55）	
5	5/19	１章 ベクトル（P56～71）	
6	5/26	２章 平面上の曲線（P74～87）	
7	6/2	２章 平面上の曲線（P88～96）	
8	6/9	２章 平面上の曲線（P97～101）	
9	6/16	２章 平面上の曲線（P102～113）	
10	6/30	３章 複素数平面（P116～131）	
11	7/1	３章 複素数平面（P132～145）	
12	7/7	４章 数学的な表現の工夫（P148～）	
13	10/2	１章 ベクトル（P10～24）	
14	10/10	１章 ベクトル（P25～33）	
15	10/20	１章 ベクトル（P34～47）	
16	10/27	１章 ベクトル（P48～55）	
17	11/4	１章 ベクトル（P56～71）	
18	11/10	２章 平面上の曲線（P74～87）	
19	11/17	２章 平面上の曲線（P88～96）	
20	12/1	２章 平面上の曲線（P97～101）	
21	12/8	２章 平面上の曲線（P102～113）	
22	12/15	３章 複素数平面（P116～131）	
23	1/5	３章 複素数平面（P132～145）	
24	1/13	４章 数学的な表現の工夫（P148～）	

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
数学	Basic Program Ⅰ	単位数：２	新開

指導目標

高校数学を学ぶにあたり、その為の基礎知識として、これまで習ってきた内容について復習する。数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。

メディア学習	あり	東京書籍ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ講座	教科書	東京書籍　ラスパ数学
スクーリング	必要時間数２単位時間以上		副教材	オリジナル教材ｅトレ
レポート	全６回	B4　６枚	試験範囲	レポート第１回～第６回
単位認定試験	あり	評価割合　80%	評　定	100 点満点　５段階評定

1～12：前期　　13～24：後期

回	開始週	学習内容	スクーリング内容 （以下の中から選択して実施します）
1	4/11	分数の意味、割合	1. 復習 ● 文字式・方程式・データの基礎の確認問題 ● 計算力チェック＋わからない箇所のピンポイント復習 2. 平面図形 ● 三角形・四角形・円の面積と周の求め方 ● 図形の合同・対称性・角度の計算（作図を含む） 3. 空間図形 ● 立方体・直方体・円柱などの体積・表面積 ● 展開図や見取り図の読み取り 4. 関数の基本 ● 変化と対応の意味（x と y の関係） ● １次関数（y＝ax）のグラフのかき方・読み取り 5. 中学数学の文章題演習 ● 「割合・速さ・面積」などの文章題 ● 図や式で整理する練習、考え方の言語化 6. 数学的な見方・考え方の育成 ● 「なぜそうなるのか」を説明する活動（ペアワーク／口頭説明） ● 学んだ内容を日常にどう活かせるかを考える活動
2	4/21	濃度について、速さについて	
3	4/28	文字式について、１次方程式を知る	
4	5/12	１次方程式の利用、連立方程式を知る	
5	5/19	連立方程式の利用、連立方程式を楽しむ	
6	5/26	式の展開、因数分解を知る	
7	6/2	たすきがけによる因数分解、平方根を知る	
8	6/9	ルートの計算、２次方程式とは	
9	6/16	２次方程式の解の公式、２次方程式の利用	
10	6/30	直線の式、２直線の位置関係	
11	7/1	２次関数を知る、グラフの平行移動	
12	7/7	原点以外に頂点をもつ２次関数	
13	10/2	分数の意味、割合	
14	10/10	濃度について、速さについて	
15	10/20	文字式について、１次方程式を知る	
16	10/27	１次方程式の利用、連立方程式を知る	
17	11/4	連立方程式の利用、連立方程式を楽しむ	
18	11/10	式の展開、因数分解を知る	
19	11/17	たすきがけによる因数分解、平方根を知る	
20	12/1	ルートの計算、２次方程式とは	
21	12/8	２次方程式の解の公式、２次方程式の利用	
22	12/15	直線の式、２直線の位置関係	
23	1/5	２次関数を知る、グラフの平行移動	
24	1/13	原点以外に頂点をもつ２次関数	

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
理科	科学と人間生活	単位数：２	橋本

指導目標
自然と人間生活とのかかわり，および科学技術が人間生活に果たしてきた役割について，身近な事物・現象に関する観察・実験などを通して理解させ，科学的な見方や考え方を養うとともに，科学に対する興味・関心を高める。
1．　科学技術の発展が，今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解させる。
2．　身近な自然の事物・現象および日常生活や社会の中で利用されている科学技術を取り上げ，科学と人間生活とのかかわりについて認識を深めさせる。
3．　自然と人間生活とのかかわり，および科学技術が人間生活に果たしてきた役割についての学習を踏まえて，これからの科学と人間生活とのかかわり方について考察させる。

メディア学習	あり	東京書籍ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ講座	教科書	東京書籍 科人 701
スクーリング	必要時間数８単位時間以上		副教材	プリント教材ｅトレ
レポート	全６回	B4　６枚＋ｅラーニング	試験範囲	レポート第１回～第６回
単位認定試験	あり	評価割合　80%	評　定	100 点満点　５段階評定

1～12：前期　　13～24：後期

回	開始週		
1	4/11	科学技術の発展	1　身のまわりの科学と物質の性質 ・水・空気・金属など、身近な物質の性質を観察・比較 ・状態変化や溶解といった日常現象の科学的理解 2　化学製品とくらし ・洗剤・消毒液・食品添加物などの成分とはたらき ・家庭や身の回りで使われる化学製品の安全な扱い方 3　光と音の性質 ・鏡・レンズによる光の反射・屈折の体験 ・音の伝わり方と防音・吸音の工夫を学ぶ 4　エネルギーと電気の利用 ・乾電池や発電の仕組みと身の回りの電気製品の構造 ・省エネの工夫と再生可能エネルギーの活用 5　生物と環境のつながり ・植物の光合成・呼吸・水の循環の観察と解説 ・自然環境の変化と生物多様性の関係 6　科学的に考える力を育てる ・生活の中の疑問を科学の視点で考える活動 ・情報リテラシーと科学的な根拠に基づく判断力の育成
2	4/21		
3	4/28	1編 生命の科学	
4	5/12		
5	5/19	2編 物質の科学 1 リサイクルとは何か	
6	5/26		
7	6/2	3編 光や熱の科学	
8	6/9		
9	6/16	4編 宇宙や地球の科学	
10	6/30		
11	7/1	5編 課題研究	
12	7/7		
13	10/2	科学技術の発展	
14	10/10		
15	10/20	1編 生命の科学	
16	10/27		
17	11/4	2編 物質の科学 1 リサイクルとは何か	
18	11/10		
19	11/17	3編 光や熱の科学	
20	12/1		
21	12/8	4編 宇宙や地球の科学	
22	12/15		
23	1/5	5編 課題研究	
24	1/13		

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
理科	生物基礎	単位数：２	橋本

指導目標
生物や生物現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
1．　日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
2．　観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。
3．　生物や生物現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。

メディア学習	あり	東京書籍ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ講座	教科書	東京書籍　生基 702
スクーリング	必要時間数８単位時間以上		副教材	プリント教材ｅトレ
レポート	全６回	B4　６枚＋ｅラーニング	試験範囲	レポート第１回～第６回
単位認定試験	あり	評価割合　80%	評　定	100 点満点　５段階評定

1～12：前期　　13～24：後期

回	開始週		
1	4/11	１章　生物の多様性と共通性	1　生物の特徴と共通性 ・すべての生物に共通する特徴（細胞・代謝・恒常性など） ・生物と無生物の違いを見分ける視点を学ぶ 2　細胞とその働き ・顕微鏡観察による細胞の構造理解（例：タマネギ表皮） ・細胞分裂・DNA・核の役割などの基礎理解 3　生命活動とエネルギー ・呼吸・光合成の仕組みとエネルギーの流れ ・酵素の働きや栄養の吸収などのしくみ 4　生物の体内環境と維持機構 ・ヒトの体温・血糖値を保つ仕組み（ホルモン・自律神経） ・体液（血液・リンパ液）とそのはたらき 5　遺伝と情報伝達 ・遺伝の法則（メンデル）と遺伝子の働き ・DNA の構造と遺伝情報の伝達の基本理解 6　生物の多様性と生態系 ・生物多様性の意味と絶滅の背景 ・食物連鎖・生態ピラミッドと人間活動の影響
2	4/21	２章　生物とエネルギー	
3	4/28	１章　遺伝情報と DNA	
4	5/12	２章　遺伝情報とタンパク質の合成	
5	5/19	１章　ヒトの体を調節するしくみ	
6	5/26	１章　ヒトの体を調節するしくみ	
7	6/2	２章　免疫のはたらき	
8	6/9	２章　免疫のはたらき	
9	6/16	１章　植生と遷移	
10	6/30	１章　植生と遷移	
11	7/1	２章　生態系と生物の多様性	
12	7/7	２章　生態系と生物の多様性	
13	10/2	１章　生物の多様性と共通性	
14	10/10	２章　生物とエネルギー	
15	10/20	１章　遺伝情報と DNA	
16	10/27	２章　遺伝情報とタンパク質の合成	
17	11/4	１章　ヒトの体を調節するしくみ	
18	11/10	１章　ヒトの体を調節するしくみ	
19	11/17	２章　免疫のはたらき	
20	12/1	２章　免疫のはたらき	
21	12/8	１章　植生と遷移	
22	12/15	１章　植生と遷移	
23	1/5	２章　生態系と生物の多様性	
24	1/13	２章　生態系と生物の多様性	

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
理科	化学基礎	単位数：２	苑田

指導目標
物質とその変化に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
1.　日常生活や社会との関連を図りながら，物質とその変化について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
2.　観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。
3.　物質とその変化に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

メディア学習	あり	東京書籍ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ講座	教科書	東京書籍　化基 702
スクーリング	必要時間数８単位時間以上		副教材	プリント教材ｅトレ
レポート	全６回	B4　６枚＋ｅラーニング	試験範囲	レポート第１回～第６回
単位認定試験	あり	評価割合　80%	評　定	100 点満点　５段階評定

1～12：前期　　13～24：後期

回	開始週		
1	4/11	１章 化学とは何か	1.　身のまわりの物質とその分類 ・純物質と混合物の違い（例：水・空気・砂糖水など） ・金属・非金属・化合物などの基本的な分類と性質 2.　原子と分子の構造 ・原子の構造（陽子・中性子・電子）の基礎理解 ・分子・イオンの成り立ちと化学式の書き方 3.　化学変化とそのしくみ ・化学反応式の基本（質量保存の法則・係数の意味） ・発熱反応・吸熱反応の例と生活との関わり 4.　酸・アルカリと中和反応 ・酸とアルカリの性質・リトマス紙による簡単な実験 ・中和反応と塩・水の生成のしくみ 5.　状態変化とエネルギー ・物質の状態変化（融解・蒸発・凝固）と温度の関係 ・気体・液体・固体の分子の運動の違い 6.　化学の視点から考える環境問題 ・二酸化炭素・プラスチック・酸性雨などの科学的背景 ・環境を守るためにできる選択と行動を考える
2	4/21		
3	4/28	１章 原子の構造と元素の周期表	
4	5/12		
5	5/19	２章 化学結合	
6	5/26		
7	6/2	１章 物質量と化学反応式	
8	6/9		
9	6/16	２章 酸と塩基	
10	6/30		
11	7/1	３章 酸化還元反応	
12	7/7		
13	10/2	１章 化学とは何か	
14	10/10		
15	10/20	１章 原子の構造と元素の周期表	
16	10/27		
17	11/4	２章 化学結合	
18	11/10		
19	11/17	１章 物質量と化学反応式	
20	12/1		
21	12/8	２章 酸と塩基	
22	12/15		
23	1/5	３章 酸化還元反応	
24	1/13		

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
理科	物理基礎	単位数：２	苑田

指導目標
物体の運動と様々なエネルギーに関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
1.　日常生活や社会との関連を図りながら，物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
2.　観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。
3.　物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

メディア学習	あり	東京書籍ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ講座	教科書	東京書籍　物基 702
スクーリング	必要時間数８単位時間以上		副教材	プリント教材ｅトレ
レポート	全６回	B4　６枚＋ｅラーニング	試験範囲	レポート第１回～第６回
単位認定試験	あり	評価割合　80%	評　定	100 点満点　５段階評定

1～12：前期　　13～24：後期

回	開始週		
1	4/11	１章 直線運動の世界（P10～33）	1　身のまわりの運動の観察 ・速度・加速度とは何かを日常の動きから考える ・等速直線運動と自由落下の違いをイメージで理解 2　力と運動の関係 ・重力・摩擦・張力などの身近な「力」を見つける ・ニュートンの運動の法則を図や例で整理する 3　エネルギーとその保存 ・位置エネルギー・運動エネルギーの変換を体験的に学ぶ ・エネルギー保存の法則と生活とのつながり 4　音と振動のしくみ ・音が空気の振動で伝わる仕組みを模型で確認 ・音の高さと振動数、音の大きさと振幅の関係を理解 5　光の反射と屈折 ・鏡や水などを使った簡単な反射・屈折の実験 ・レンズを通る光の進み方と焦点の仕組み 6　電気とその利用 ・回路の基本（電流・電圧・抵抗）とオームの法則の理解 ・LED・電池・導線を使った簡単な回路作り体験
2	4/21	１章 直線運動の世界（P10～33）	
3	4/28	２章 力と運動の法則（P34～73）	
4	5/12	２章 力と運動の法則（P34～73）	
5	5/19	３章 力学的エネルギー（P74～91）	
6	5/26	３章 力学的エネルギー（P74～91）	
7	6/2	１章 熱（P94～107）	
8	6/9	１章 熱（P94～107）	
9	6/16	２章 波（P108～133）	
10	6/30	２章 波（P108～133）	
11	7/1	3章 電気 4章 エネルギーとその利用（P134～165）	
12	7/7	3章 電気 4章 エネルギーとその利用（P134～165）	
13	10/2	１章 直線運動の世界（P10～33）	
14	10/10	１章 直線運動の世界（P10～33）	
15	10/20	２章 力と運動の法則（P34～73）	
16	10/27	２章 力と運動の法則（P34～73）	
17	11/4	３章 力学的エネルギー（P74～91）	
18	11/10	３章 力学的エネルギー（P74～91）	
19	11/17	１章 熱（P94～107）	
20	12/1	１章 熱（P94～107）	
21	12/8	２章 波（P108～133）	
22	12/15	２章 波（P108～133）	
23	1/5	3章 電気 4章 エネルギーとその利用（P134～165）	
24	1/13	3章 電気 4章 エネルギーとその利用（P134～165）	

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
理科	物理１、２	単位数：４	橋本

指導目標
理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，様々な運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
1.　日常生活や社会との関連を図りながら，物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
2.　観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。
3.　様々な運動と様々なエネルギーに主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

メディア学習	あり	東京書籍ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ講座	教科書	東京書籍　物理 701
スクーリング	必要時間数 16 単位時間以上		副教材	プリント教材ｅトレ
レポート	全 12 回	B4 12 枚	試験範囲	レポート第１回～第６回
単位認定試験	あり	評価割合　80%	評　定	100 点満点　５段階評定

1～12：前期　　13～24：後期

回	開始週		
1	4/11	１章　平面内の運動	1.　力のつり合いとベクトル ・２力・３力のつり合いの作図 ・ベクトルの合成と分解の理解 2.　モーメントと重心 ・てこの原理と支点・力点・作用点 ・重心の求め方と応用例（板・人の姿勢など） 3.　等加速度直線運動 ・運動方程式（$v=at$、$x=\frac{1}{2}at^2$）の活用 ・グラフの描き方と意味の理解 4.　運動の法則（ニュートン） ・慣性の法則、$F=ma$、作用・反作用の法則 ・日常現象への応用（エレベーター、車の急停止など） 5.　仕事とエネルギー ・仕事の定義と計算方法 ・運動エネルギー・位置エネルギーと保存則 6.　力学的エネルギー保存則 ・エネルギー保存則の式の使い方 ・摩擦・空気抵抗がある場合の考慮方法
2	4/21	２章　剛体のつり合い	
3	4/28	３章　運動量	
4	5/12	４章　円運動	
5	5/19	５章　単振動	
6	5/26	６章　万有引力	
7	6/2	７章　気体分子の運動	
8	6/9		
9	6/16	１章　波の伝わり方	
10	6/30	２章　音	
11	7/1	３章　光	
12	7/7		
13	10/2	１章　電場と電位	1.　円運動と向心力 ・等速円運動と向心加速度の関係 ・遠心力の正しい理解 2.　単振動の基礎 ・ばね振り子・単振り子の周期計算 ・単振動と円運動の関係性 3.　熱と比熱・熱量 ・熱量=質量×比熱×温度差の公式 ・混合・加熱による温度変化の計算 4.　波の性質（縦波と横波） ・波の基本用語（振幅・周期・波長など） ・波の反射・屈折・干渉現象 5.　音の伝わりと共鳴 ・音速の計算と気柱共鳴の原理 ・ドップラー効果と実生活での応用 6.　電気の基礎とオームの法則 ・$V=IR$、直列・並列回路の特徴 ・消費電力と電力量の計算
14	10/10		
15	10/20	２章　電流	
16	10/27		
17	11/4	３章　電流と磁場	
18	11/10		
19	11/17	４章　電磁誘導と電磁波	
20	12/1		
21	12/8	１章　電子と光	
22	12/15		
23	1/5	２章　原子と原子核	
24	1/13		

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
理科	化学 1、2	単位数：4	苑田

指導目標
物質とその変化に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
1.　日常生活や社会との関連を図りながら，物質とその変化について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
2.　観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。
3.　物質とその変化に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

メディア学習	あり	東京書籍ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ講座	教科書	東京書籍　化学 701、702
スクーリング	必要時間数 16 単位時間以上		副教材	プリント教材ｅトレ
レポート	全 12 回	B4 12 枚	試験範囲	レポート第１回～第６回
単位認定試験	あり	評価割合　80%	評　定	100 点満点　５段階評定

1～12：前期　　13～24：後期

回	開始週		
1	4/11	１章　物質の状態	1.　原子・分子・イオンの構造 ・電子配置と周期表の規則性 ・陽イオン・陰イオンの生成と価数 2.　化学式と化学反応式 ・物質の表し方（分子式・組成式） ・質量保存と化学反応式の立て方 3.　モルと化学量計算 ・モルの定義とアボガドロ数 ・反応量計算と質量との関係 4.　気体の性質と法則 ・ボイルの法則・シャルルの法則の式とグラフ ・理想気体の状態方程式の応用 5.　水溶液の性質 ・濃度（質量パーセント濃度・モル濃度）の計算 ・電離と導電性、強酸・弱酸の違い 6.　酸・塩基と中和反応 ・ブレンステッドの酸・塩基の定義 ・中和滴定と pH の理解
2	4/21	２章　気体の性質	
3	4/28	３章　溶液の性質	
4	5/12	４章　固体の構造	
5	5/19	１章　化学反応と熱・光	
6	5/26		
7	6/2	２章　電池と電気分解	
8	6/9		
9	6/16	１章　化学反応の速さ	
10	6/30	２章　化学平衡	
11	7/1		
12	7/7	３章　水溶液中の化学平衡	
13	10/2	１章　周期表と元素　２章　非金属元素の単体と化合物　３章　典型金属元素の単体と化合物	1　酸化還元反応の基礎 ・酸化数の決定法と半反応式の作成 ・酸化剤・還元剤の見分け方 2　電池と電気分解 ・ボルタ電池・ダニエル電池の仕組み ・電気分解の反応式とイオンの移動 3　化学結合の種類 ・イオン結合・共有結合・金属結合の違い ・結晶の構造と性質との関係 4　有機化学の基本 ・アルカン・アルケン・アルキンの構造と命名 ・異性体と飽和・不飽和の概念 5　官能基と化学反応 ・アルコール・カルボン酸・エステルの性質 ・加水分解・脱水縮合などの反応パターン 6　環境化学・社会との関係 ・二酸化炭素・酸性雨・フロンなどの影響 ・持続可能な化学技術とグリーンケミストリー
14	10/10		
15	10/20	４章　遷移元素の単体と化合物	
16	10/27	５章　金属イオンの分離と確認	
17	11/4	１章　有機化合物の特徴と構造	
18	11/10	２章　炭化水素	
19	11/17	３章　アルコールと関連化合物	
20	12/1		
21	12/8	４章　芳香族化合物	
22	12/15	１章　高分子化合物とは何か	
23	1/5	２章　高分子化合物とは何か　３章　合成高分子化合物	
24	1/13	第７編　化学が果たす役割	

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
理科	生物 1、2	単位数：４	橋本

指導目標
生物や生物現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
1．　日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
2．　観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。
3．　生物や生物現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。

メディア学習	あり	東京書籍ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ講座	教科書	東京書籍　生物 701
スクーリング	必要時間数 16 単位時間以上		副教材	プリント教材ｅトレ
レポート	全 12 回	B4 12 枚	試験範囲	レポート第１回～第６回
単位認定試験	あり	評価割合　80%	評　定	100 点満点　５段階評定

1～12：前期　　13～24：後期

回	開始週		
1	4/11	1 章 1 節 共通性と多様性をつなぐ進化～2 節 生命の誕生	1.　生物の共通性と細胞の構造 ・細胞膜・核・ミトコンドリアなどの役割 ・原核生物と真核生物の違い 2.　細胞分裂と核の働き ・体細胞分裂と染色体の動き ・DNA と染色体の関係 3.　代謝と酵素のしくみ ・酵素の特異性と条件の影響 ・同化と異化、ATP の役割 4.　呼吸と光合成の反応経路 ・呼吸（解糖系～クエン酸回路）の概要 ・光合成（明反応・暗反応）のしくみ 5.　遺伝子の構造と発現 ・DNA の複製と転写・翻訳 ・遺伝情報の単位とタンパク質合成 6.　遺伝とその法則 ・メンデルの法則（優性・分離・独立の法則） ・遺伝子型・表現型と遺伝子交雑の計算
2	4/21	3 節 生物の多様性と地球環境の変化～2 章 1 節 遺伝的変異	
3	4/28	2 節 多様な遺伝的変異をもたらす有性生殖～3 節 進化の定義と自然選択による進化	
4	5/12	4 節 遺伝子レベルでみる進化～5 節 種分化	
5	5/19	3 章 1 節 生物の系統～2 節 生物の系統分類	
6	5/26	3 節 霊長類のなかのヒト～4 節 人類の出現と変遷	
7	6/2	1 章 1 節 細胞を構成する成分～3 節 細胞の構造	
8	6/9	4 節 タンパク質の構造～6 節 生命現象とタンパク質	
9	6/16	2 章 1 節 代謝とエネルギー～2 節 呼吸	
10	6/30	3 節 発酵～4 節 光合成	
11	7/1	1 章 1 節 DNA の構造～3 節 遺伝情報の流れ	
12	7/7	4 節 RNA と転写～6 節 遺伝情報の変化	
13	10/2	2 章 1 節 原核生物の遺伝子発現の調節～4 節 動物の発生	1　恒常性と内分泌系 ・自律神経とホルモンによる調節機構 ・体温・血糖値のフィードバック制御 2　体内環境と循環系 ・血液の成分と働き ・心臓・血管の構造と血液循環 3　呼吸・排出と腎臓の働き ・肺の構造とガス交換 ・腎臓による老廃物の排出と水分調節 4　刺激の受容と反応 ・感覚器と神経系の構造 ・反射と興奮の伝導 5　発生と個体の形成 ・受精と発生の初期過程 ・幹細胞と器官形成の基本的理解 6　生態系と物質循環 ・生態ピラミッドと栄養段階 ・炭素・窒素の循環と人間活動の影響
14	10/10	5 節 胚の細胞の発生運命と遺伝子発現～7 節 動物の形と調節遺伝子の発現	
15	10/20	3 章 1 節 遺伝子を増幅する技術～2 節 塩基配列を解読する技術	
16	10/27	3 節 遺伝子組換え技術の利用～4 節 遺伝子や細胞を扱う技術の課題	
17	11/4	1 章 動物の刺激の受容と反応	
18	11/10	2 章 動物の行動	
19	11/17	3 章 1 節 被子植物の生殖と発生～5 節 茎や根の成長と環境要因の影響	
20	12/1	6 節 気孔の開閉の調節と環境要因の影響～9 節 器官の老化と脱落のしくみ	
21	12/8	1 章 1 節 生態系からみた生物～3 節 個体群の構造と成長	
22	12/15	4 節 個体間の相互作用～6 節 生物群集の成り立ちと多種の共存	
23	1/5	2 章 1 節 食物網と物質生産～2 節 人間社会の変化と生態系	
24	1/13	3 節 生態系の復元～4 節 人間は自然とどう付き合っていったらよいか	

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
保健体育	体育Ⅰ	単位数：Ⅰ	福本

指導目標
体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
1. 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
2. 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
3. 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

メディア学習	あり	東京書籍ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ講座	教科書	大修館書店　保体 701
スクーリング	必要時間数５単位時間以上		副教材	なし
レポート	全１回	B4１枚	試験範囲	レポート第１回
単位認定試験	あり	評価割合　80%	評　定	100 点満点　５段階評定

1～12：前期　　13～24：後期

回	開始週	学習内容	スクーリング内容 （以下の中から選択して実施します）
1	4/9	01 スポーツの始まりと変遷～03 オリンピックとパラリンピックの意義	1. 準備運動と整理運動の実践 ・ストレッチの基本を学び、正しい姿勢で行う体験 ・準備運動・整理運動の役割とけが予防への効果を理解 2. 体力測定と自己分析 ・反復横跳び、長座体前屈、握力などの測定を実施 ・測定結果をもとに現在の体力レベルを振り返る 3. ニュースポーツの体験 ・モルックやボッチャなどのニュースポーツに挑戦 ・誰もが楽しめる運動を通じて協調性とルール意識を育成 4. 集団ゲームによる協働活動 ・ドッジビーやソフトバレーボールなどのチーム競技を実施 ・仲間とのコミュニケーションを意識したプレーを体験 5. 日常生活と運動の関わり ・ウォーキングなどの軽運動を実施し、継続の意識を持つ ・生活習慣病予防や心の健康との関連を考察 6. 健康と運動に関する講義 ・睡眠・食事・運動のバランスについての基礎知識を学習 ・運動が心身にもたらす影響（ストレス軽減・集中力向上）を理解
2	4/16	04 スポーツが経済に及ぼす効果～06 スポーツと環境	
3	4/30		
4	5/13		
5	5/20		
6	5/27		
7	6/3		
8	6/10		
9	6/17		
10	6/24		
11	7/16		
12	7/22		
13	10/2	01 スポーツの始まりと変遷～03 オリンピックとパラリンピックの意義	
14	10/9	04 スポーツが経済に及ぼす効果～06 スポーツと環境	
15	10/21		
16	10/28		
17	11/11		
18	11/18		
19	11/25		
20	12/2		
21	12/9		
22	12/16		
23	12/23		
24	1/7		

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
保健体育	体育２	単位数：２	丸野

指導目標
体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
1.　各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
2.　運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
3.　生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

メディア学習	あり	東京書籍ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ講座	教科書	大修館書店　保体 701
スクーリング	必要時間数 10 単位時間以上		副教材	なし
レポート	全２回	B4　２枚	試験範囲	レポート第１回～第２回
単位認定試験	あり	評価割合　80%	評　定	100 点満点　５段階評定

1～12：前期　　13～24：後期

回	開始週	学習内容	スクーリング内容 （以下の中から選択して実施します）
1	4/9	01 スポーツにおける技能と体力～03 技能の上達過程と練習	1.　筋力・柔軟性向上トレーニング ・体幹を意識したトレーニング（プランク・スクワットなど） ・柔軟性を高めるストレッチの実践 2.　基礎持久力と心肺機能の向上 ・ジョギングやサーキットトレーニングを体験 ・有酸素運動と心肺機能の関係を理解 3.　戦略的な集団スポーツ ・バスケットボールやフットサル等の戦術を体験 ・役割分担と戦術理解を深めるゲーム形式の実施 4.　チームビルディング活動 ・ペアやグループでの協力的運動（リレー・対話型ゲーム） ・信頼関係を築くコミュニケーション活動 5.　運動によるメンタルケア ・リズム運動やヨガを通してストレスマネジメントを体験 ・集中力・リラックス効果を意識した身体活動 6.　健康的な生活習慣と運動の関係 ・スマホ・睡眠・姿勢の関係と運動習慣の重要性 ・日常に取り入れやすい運動の工夫を考える
2	4/16	04 効果的な動きのメカニズム～06 運動やスポーツでの安全の確保	
3	4/30	01 生涯スポーツの見方・考え方～02 ライフスタイルに応じたスポーツ	
4	5/13	03 スポーツを推進する取り組み～04 豊かなスポーツライフの創造	
5	5/20		
6	5/27		
7	6/3		
8	6/10		
9	6/17		
10	6/24		
11	7/16		
12	7/22		
13	10/2	01 スポーツにおける技能と体力～03 技能の上達過程と練習	
14	10/9	04 効果的な動きのメカニズム～06 運動やスポーツでの安全の確保	
15	10/21	01 生涯スポーツの見方・考え方～02 ライフスタイルに応じたスポーツ	
16	10/28	03 スポーツを推進する取り組み～04 豊かなスポーツライフの創造	
17	11/11		
18	11/18		
19	11/25		
20	12/2		
21	12/9		
22	12/16		
23	12/23		
24	1/7		

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
保健体育	体育３	単位数：２	福本

指導目標

生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与することを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

メディア学習	あり	東京書籍ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ講座	教科書	大修館書店　アクティブスポーツ 2025
スクーリング	必要時間数 10 単位時間以上		副教材	なし
レポート	全２回	B4 ２枚	試験範囲	レポート第１回～第２回
単位認定試験	あり	評価割合　80%	評　定	100 点満点　５段階評定

1～12：前期　　13～24：後期

回	開始週	学習内容	スクーリング内容 （以下の中から選択して実施します）
1	4/9	陸上競技，水泳	1　自己記録の更新と達成感の体験 ・体力測定の再挑戦と前回との比較 ・自己記録更新を通してモチベーション形成 2　戦術スポーツのルールと技術理解 ・バドミントンや卓球などの対人競技を体験 ・ルールと基本技術を身につける 3　グループ対抗運動会的種目 ・チーム対抗の運動会種目（大縄・玉入れなど）を実施 ・勝敗にこだわりすぎず楽しさと協調性を体験 4　スポーツによる多様性の理解 ・パラスポーツ体験（アイマスクを使った運動など） ・障がいとスポーツの関係性を考える講話や実践 5　スポーツと社会的マナー ・審判体験や応援のマナーについて学ぶ ・フェアプレー精神の意味を考える 6　将来に活かす健康づくりの工夫 ・職業や進路と健康・体力との関連を考察 ・働く人の運動習慣の事例紹介とディスカッション
2	4/16	器械運動，ダンス	
3	4/30	剣道，柔道	
4	5/13	スキー，スノーボード，スケート	
5	5/20		
6	5/27		
7	6/3		
8	6/10		
9	6/17		
10	6/24		
11	7/16		
12	7/22		
13	10/2	陸上競技，水泳	
14	10/9	器械運動，ダンス	
15	10/21	剣道，柔道	
16	10/28	スキー，スノーボード，スケート	
17	11/11		
18	11/18		
19	11/25		
20	12/2		
21	12/9		
22	12/16		
23	12/23		
24	1/7		

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
保健体育	体育４	単位数：２	丸野

指導目標

生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与することを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

メディア学習	あり	東京書籍ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ講座	教科書	大修館書店　アクティブスポーツ 2025
スクーリング	必要時間数 10 単位時間以上		副教材	なし
レポート	全２回	B4 ２枚	試験範囲	レポート第１回～第２回
単位認定試験	あり	評価割合　80%	評　定	100 点満点　５段階評定

1～12：前期　　13～24：後期

回	開始週	学習内容	スクーリング内容 （以下の中から選択して実施します）
1	4/9	バスケットボール，ソフトボール	1　生涯スポーツの意義と体験 ・ウォーキング・ストレッチ・軽運動の継続方法を体験 ・年齢に応じた運動の選び方を考える 2　自己管理能力の確認と振り返り ・過去の記録や生活習慣を振り返る記録シートの記入 ・運動と食事・睡眠の関係性を再確認 3　健康課題と向き合う運動の実践 ・肩こり・腰痛予防運動の紹介と体験 ・姿勢改善や体の歪みを意識した運動 4　仲間とともに楽しむ身体活動 ・ダンス・レクリエーションスポーツを体験 ・音楽や笑顔を取り入れた運動の魅力を知る 5　運動プログラムの立案体験 ・自分に合った運動計画（1 週間分）を考える ・日常に取り入れる工夫をグループで共有 6　最後のまとめと自己目標の設定 ・高校生活をふり返り、卒業後の運動習慣目標を設定 ・体力向上と心の健康の両立を自分なりに整理
2	4/16	サッカー，ラグビー	
3	4/30	バレーボール，バドミントン	
4	5/13	テニス，卓球	
5	5/20		
6	5/27		
7	6/3		
8	6/10		
9	6/17		
10	6/24		
11	7/16		
12	7/22		
13	10/2	バスケットボール，ソフトボール	
14	10/9	サッカー，ラグビー	
15	10/21	バレーボール，バドミントン	
16	10/28	テニス，卓球	
17	11/11		
18	11/18		
19	11/25		
20	12/2		
21	12/9		
22	12/16		
23	12/23		
24	1/7		

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
保健体育	保健１	単位数：１	上原

指導目標
保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。
1.　個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。
2.　健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
3.　生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

メディア学習	あり	東京書籍ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ講座	教科書	大修館書店　保体 701
スクーリング	必要時間数２単位時間以上		副教材	なし
レポート	全３回	B4　３枚	試験範囲	レポート第１回～第３回
単位認定試験	あり	評価割合　80%	評　定	100 点満点　５段階評定

1～12：前期　　13～24：後期

回	開始週	学習内容	スクーリング内容 （以下の中から選択して実施します）
1	4/9	01 健康の考え方と成り立ち～05 がんの治療と回復	1.　健康とは何かを考える ・WHO の健康の定義と現代の健康観 ・心・体・社会の健康のバランスを知る 2.　思春期の心と体の変化 ・ホルモンと心身の変化、第二次性徴の理解 ・自己理解と他者との関係づくり 3.　生活習慣と健康の関係 ・睡眠・食事・運動の基本と整えるポイント ・生活習慣病の予防（肥満・高血圧・糖尿病など） 4.　感染症とその予防 ・感染の仕組み（感染源・感染経路・感受性） ・インフルエンザ・性感染症・コロナウイルスなどの予防行動 5.　応急手当の基礎 ・けが・出血時の対応と止血法の基本 ・心肺蘇生法（胸骨圧迫の体験中心） 6.　メディアと健康情報の正しい見方 ・健康情報の信頼性の見極め方 ・SNS やネットによる健康不安と付き合い方
2	4/16	06 運動と健康～11 薬物乱用と健康	
3	4/30	12 精神疾患の特徴～15 現代の感染症	
4	5/13	16 感染症の予防～19 健康に関する環境づくり	
5	5/20	01 事故の現状と発生要因～03 交通における安全	
6	5/27	04 応急手当の意義とその基本～06 心肺蘇生法	
7	6/3		
8	6/10		
9	6/17		
10	6/24		
11	7/16		
12	7/22		
13	10/2	01 健康の考え方と成り立ち～05 がんの治療と回復	
14	10/9	06 運動と健康～11 薬物乱用と健康	
15	10/21	12 精神疾患の特徴～15 現代の感染症	
16	10/28	16 感染症の予防～19 健康に関する環境づくり	
17	11/11	01 事故の現状と発生要因～03 交通における安全	
18	11/18	04 応急手当の意義とその基本～06 心肺蘇生法	
19	11/25		
20	12/2		
21	12/9		
22	12/16		
23	12/23		
24	1/7		

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
保健体育	保健２	単位数：１	上原

指導目標
保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。
1.　個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。
2.　健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
3.　生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

メディア学習	あり	東京書籍ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ講座	教科書	大修館書店　保体 701
スクーリング	必要時間数２単位時間以上		副教材	なし
レポート	全６回	B4　６枚	試験範囲	レポート第１回～第３回
単位認定試験	あり	評価割合　80%	評　定	100 点満点　５段階評定

1～12：前期　　13～24：後期

回	開始週	学習内容	スクーリング内容 （以下の中から選択して実施します）
1	4/9	01 ライフステージと健康～03 世意識と性行動の選択	1　ストレスと心の健康 ・ストレスの種類と対処法（リラクセーション・相談） ・メンタルヘルスと SOS を出すことの大切さ 2　性と生の健康な理解 ・性の多様性と人権、性に関する正しい知識 ・望まない妊娠・性感染症の予防と責任 3　アディクション（依存）への理解 ・喫煙・飲酒・薬物・スマホ依存のリスクと実態 ・自分を守るための断り方・付き合い方 4　社会の中での健康づくり ・地域保健や健康診断など社会資源の活用 ・職場や家庭での健康づくりへの参加意識 5　災害時の健康と安全 ・災害時に備える心構えと避難行動 ・健康を守る生活リズム・感染対策・心のケア 6　自分自身の健康プランを考える ・生活習慣の振り返りと目標設定 ・将来の健康課題（働き方・加齢）への備え
2	4/16	04 妊娠・出産と健康～07 中高年期と健康	
3	4/30	08 働くことと健康～10 健康的な職業生活	
4	5/13	01 大気汚染と健康～04 ごみの処理と上下水道の整備	
5	5/20	05 食品の安全性～07 保険サービスとその活用	
6	5/27	08 医療サービスとその活用～11 健康に関する環境づくりと社会参加	
7	6/3		
8	6/10		
9	6/17		
10	6/24		
11	7/16		
12	7/22		
13	10/2	01 ライフステージと健康～03 世意識と性行動の選択	
14	10/9	04 妊娠・出産と健康～07 中高年期と健康	
15	10/21	08 働くことと健康～10 健康的な職業生活	
16	10/28	01 大気汚染と健康～04 ごみの処理と上下水道の整備	
17	11/11	05 食品の安全性～07 保険サービスとその活用	
18	11/18	08 医療サービスとその活用～11 健康に関する環境づくりと社会参加	
19	11/25		
20	12/2		
21	12/9		
22	12/16		
23	12/23		
24	1/7		

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
芸術科	書道Ⅰ	単位数：２	宮崎

指導目標
書道の幅広い活動を通して，書に関する見方・考え方を働かせ，生活や社会の中の文字や書，書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。中国や日本の古典に触れ、書道を愛好する心情を育成し、表現能力の習熟や鑑賞力を伸ばす。
1．　書の表現の方法や形式，多様性などについて幅広く理解するとともに，書写能力の向上を図り，書の伝統に基づき，効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
2．　書のよさや美しさを感受し，意図に基づいて構想し表現を工夫したり，作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え，書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
3．　主体的に書の幅広い活動に取り組み，生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，書の伝統と文化に親しみ，書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

メディア学習	あり	東京書籍ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ講座	教科書	東京書籍　書Ⅰ701
スクーリング	必要時間数８単位時間以上		副教材	なし
レポート	全６回	B4　６枚	試験範囲	試験なし
単位認定試験	なし		評　定	100 点満点　５段階評定

1～12：前期　　13～24：後期

回	開始週	学習内容	スクーリング内容 （以下の中から選択して実施します）
1	4/9	書の美を楽しむ	1.　書写の基本姿勢と用具の扱い方 ・正しい姿勢・筆の持ち方・腕の動かし方を学ぶ ・筆・硯・墨・紙など道具の名称と使い方を確認 2.　筆遣いの基礎（点画の練習） ・横画・縦画・はらい・はねなど基本の書き方 ・運筆練習で線の強弱・筆圧を体感 3.　漢字の構成と字形の理解 ・偏・旁・上下などの字形バランスを理解 ・臨書を通じて字形を整えるコツをつかむ 4.　仮名文字の基礎 ・ひらがなの成り立ちと連綿の書き方を学習 ・仮名の美しさを意識して調和を取る 5.　課題作品の制作（楷書・行書） ・決められた課題文字をバランスよく清書 ・文字の大きさ・間隔に注意して仕上げる 6.　書の鑑賞と作品発表 ・歴史的名筆（王羲之・空海など）を鑑賞・解説 ・自分の作品を発表し、相互評価とふり返り
2	4/16	書写から書道へ	
3	4/30	漢字の書	
4	5/13	楷書	
5	5/20	行書	
6	5/27	草書	
7	6/3	隷書	
8	6/10	篆書	
9	6/17	仮名の書	
10	6/24	漢字仮名交じりの書	
11	7/16	篆刻・刻字	
12	7/22		
13	10/2	書の美を楽しむ	
14	10/9	書写から書道へ	
15	10/21	漢字の書	
16	10/28	楷書	
17	11/11	行書	
18	11/18	草書	
19	11/25	隷書	
20	12/2	篆書	
21	12/9	仮名の書	
22	12/16	漢字仮名交じりの書	
23	12/23	篆刻・刻字	
24	1/7		

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
家庭科	家庭基礎	単位数：２	今林

指導目標
生活の営みに係る見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を通して，様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
1．　人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え，家族・家庭の意義，家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め，家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて，生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付けるようにする。
2．　家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
3．　様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

メディア学習	あり	東京書籍ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ講座	教科書	東京書籍　家基３11
スクーリング	必要時間数４単位時間以上		副教材	なし
レポート	全４回	B4　４枚	試験範囲	レポート第１回～第４回
単位認定試験	あり	評価割合　80%	評　定	100 点満点　５段階評定

1～12：前期　　13～24：後期

回	開始週	学習内容	スクーリング内容 （以下の中から選択して実施します）
1	4/9	第１章	1　家族と家庭の役割 ・家族の形とライフステージの変化 ・家庭内での役割と支え合いの重要性 2　衣食住と生活の工夫 ・季節・場面に応じた衣生活の選び方 ・安全・衛生を意識した住まいの整え方 3　食生活と健康 ・栄養バランスと「主食・主菜・副菜」の考え方 ・調理実習（例：簡単な献立作成・調理体験） 4　消費生活と金銭管理 ・買い物の計画と契約・クーリングオフの知識 ・家計管理の基礎とキャッシュレス時代の注意点 5　幼児の生活と発達 ・乳幼児の心身の発達段階と接し方 ・遊び・しつけ・生活習慣の意味と支援方法 6　持続可能な生活と家庭の責任 ・省エネ・食品ロス・リサイクルなどの家庭の工夫 ・持続可能な社会づくりと家庭からのアクション
2	4/16	第２章	
3	4/30	第３章	
4	5/13	第４章	
5	5/20	第５章	
6	5/27	第６章	
7	6/3	第７章	
8	6/10	第８章	
9	6/17	第９章	
10	6/24	第 10 章	
11	7/16	第 11 章	
12	7/22		
13	10/2	第１章	
14	10/9	第２章	
15	10/21	第３章	
16	10/28	第４章	
17	11/11	第５章	
18	11/18	第６章	
19	11/25	第７章	
20	12/2	第８章	
21	12/9	第９章	
22	12/16	第 10 章	
23	12/23	第 11 章	
24	1/7		

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
情報	情報Ⅰ	単位数：２	高田

指導目標

情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ，情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集，処理，表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い，情報社会に積極的に参画する態度を育てる。

メディア学習	あり	東京書籍ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ講座	教科書	東京書籍　情Ⅰ701
スクーリング	必要時間数４単位時間以上		副教材	プリント教材ｅトレ
レポート	全４回	B4　４枚＋ｅラーニング	試験範囲	レポート第１回～第４回
単位認定試験	あり	評価割合　80%	評　定	100 点満点　５段階評定

1～12：前期　　13～24：後期

回	開始週	学習内容	スクーリング内容 （以下の中から選択して実施します）
1	4/9	１章　情報で問題を解決する	1.　情報社会の現状と課題 ・情報化の進展と私たちの生活・仕事の変化 ・個人情報・プライバシーとセキュリティの基礎知識 2.　デジタル機器の仕組みと利用法 ・コンピュータの基本構成（入力・処理・出力） ・OS とアプリケーションの違いと活用 3.　ネットワークとインターネットの活用 ・IP アドレス・プロトコル・通信の流れの基本 ・クラウド・SNS・検索の適切な使い方 4.　データの整理と分析（表計算・グラフ） ・表計算ソフトでの関数・並べ替え・グラフ化 ・データの傾向・相関を読み取る練習 5.　プログラミングの基礎（アルゴリズム） ・順次・分岐・反復の考え方をワークで体験 ・簡単なプログラム作成（例：条件付き表示など） 6.　メディアと著作権・情報モラル ・著作権・肖像権・引用のルールと責任 ・情報の真偽を見極める力と SNS 利用時の注意点
2	4/16		
3	4/30	２章　情報を伝える	
4	5/13		
5	5/20	３章　コンピュータを活用する	
6	5/27		
7	6/3	４章　データを活用する	
8	6/10	５章　活用して提案する	
9	6/17		
10	6/24		
11	7/16		
12	7/22		
13	10/2	１章　情報で問題を解決する	
14	10/9		
15	10/21	２章　情報を伝える	
16	10/28		
17	11/11	３章　コンピュータを活用する	
18	11/18		
19	11/25	４章　データを活用する	
20	12/2	５章　活用して提案する	
21	12/9		
22	12/16		
23	12/23		
24	1/7		

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
英語	英語コミュニケーションⅠ-1、Ⅰ-2	単位数：３	梶田

指導目標
1.　「聞くこと」日常的・社会的な話題について一定の支援を活用し必要な情報を聞き取り話の意図や要点を把握することができるようにする。
2.　「読むこと」日常的・社会的な話題について一定の支援を活用し必要な情報を読み取り文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。
3.　「話すこと」日常的・社会的な話題について一定の支援を活用し多様な語句や文を用いて情報や考え気持ちなどを伝え合うやり取りを続けたり、論理的に詳しく伝えたりすることができるようにする。
4.　「書くこと」日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用し情報や考えを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。

メディア学習	あり	東京書籍ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ講座	教科書	東京書籍 ＣＩ701
スクーリング	必要時間数 12 単位時間以上		副教材	プリント教材ｅトレ
レポート	全９回	B4９枚＋e ラーニング	試験範囲	レポート第１回～第６回
単位認定試験	あり	評価割合　80%	評　定	100 点満点　５段階評定

1～12：前期　　13～24：後期

回	開始週	学習内容	スクーリング内容 （以下の中から選択して実施します）
1	4/11	Pre-Lesson	**1. オリエンテーション・自己紹介** ● コース概要と評価方法の説明 ● 名前・出身地・趣味などの簡単な自己紹介の練習（ペアワーク） **2. 発音・アルファベットの確認** ● アルファベットの正確な発音 ● 基本的な音の聞き取り練習（例：B と V, L と R の違い） **3. 基本的な表現の習得（あいさつ・依頼・感謝）** ● “How are you?” “Can you help me?” “Thank you.”など ● ロールプレイ形式の会話練習 **4. 基本文法と語順理解** ● 主語＋動詞＋目的語の基本構文 ● be 動詞と一般動詞の使い分け **5. 短い英文の読解** ● 自己紹介文や簡単な日記文など ● 内容理解を確認するワークシート **6. 簡単なライティング** ● 自分の一日について 2～3 文で書く ● 英語で日記を書くための基本構成 **7. リスニング基礎** ● 教科書 CD や動画教材を使っての聞き取り練習 ● キーワードを聞き取るトレーニング
2	4/21	Lesson 1	
3	4/28	Lesson 2	
4	5/12	Lesson 3	
5	5/19	Lesson 4	
6	5/26	Lesson 5	
7	6/2		
8	6/9		
9	6/16		
10	6/30		
11	7/1		
12	7/7		
13	10/2	Reading 1	**1. 前期内容の確認と復習** ● 前期の文法・語彙の確認クイズ ● 前期に作成した自己紹介や日記の発表 **2. 応用的な会話練習** ● 買い物、道案内、食事注文などのシチュエーション英会話 ● 英語のカードを使ったペアアクティビティ **3. 文法の発展：過去形・未来表現** ● be 動詞・一般動詞の過去形、will や be going to の導入 ● 「昨日したこと」「将来の予定」を英語で表現 **4. 短文読解（やや長めのテキスト）** ● 海外の学校生活、友人とのやりとりなど身近な話題 ● 読解後に内容をまとめるワーク（日本語または英語） **5. 簡単なプレゼン・発表活動** ● テーマ例：「My Favorite Food」「My Daily Routine」 ● 原稿作成と発表練習、動画撮影も可 **6. 英語での Q&A 練習** ● 質問のしかた・答え方のパターンを学習 ● 「What time～?」「How many～?」などの基本表現 **7. リスニング応用** ● 少し長めの会話を聞いて、要点をメモ ● 選択問題や並べ替え問題で理解度確認
14	10/10	Lesson 6	
15	10/20	Lesson 7	
16	10/27	Lesson 8	
17	11/4	Lesson 9	
18	11/10	Lesson 10	
19	11/17	Reading 2	
20	12/1	Lesson1、２確認テスト	
21	12/8	Lesson3、４確認テスト	
22	12/15	Lesson5、６確認テスト	
23	1/5	Lesson7、８確認テスト	
24	1/13	Lesson9、10 確認テスト	

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
英語	英語コミュニケーションⅡ-1、Ⅱ-2	単位数：４	山﨑

指導目標

英語を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。そのために英語理解において最も中心となる、必修単語習得・文法項目理解しこれらを土台として文章を読み、書き、聞き、考えを伝えるという「技術」面の練習・習得を目指す。

メディア学習	あり	東京書籍ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ講座	教科書	東京書籍 CⅡ701
スクーリング	必要時間数 16 単位時間以上		副教材	プリント教材ｅトレ
レポート	全 12 回	B4 12 枚＋e ラーニング	試験範囲	レポート第１回～第６回
単位認定試験	あり	評価割合　80%	評　定	100 点満点　５段階評定

1～12：前期　　13～24：後期

回	開始週	学習内容	スクーリング内容 （以下の中から選択して実施します）
1	4/11	Lesson1　A Colorful Island	1. オリエンテーションとウォームアップ ● コースの流れと目標の説明 ● 簡単な会話の復習（“How was your weekend?”など） 2. 日常的な表現の強化 ● 天気、予定、趣味、学校生活に関する会話練習 例：「It's going to rain tomorrow.」「I have a lot of homework.」 3. 時制の応用（現在完了・過去進行形） ● 現在完了の基本用法（経験・継続・完了） 例：「I have visited Kyoto.」 ● 過去進行形の理解と会話での使い方 例：「I was studying when she called.」 4. 読解練習（中～やや長めの英文） ● ニュース記事風の教材やショートストーリーを読む ● 英文内容に関する問いに答える活動 5. 実用表現の導入 ● 電話の会話、Ｅメールでのやりとり（依頼・断り・お礼）など ● 文構造の確認と表現の書き換え練習 6. 自己表現（英作文練習） ● テーマ例：「私の好きな場所」「理想の休日」 ● 60～80 語程度のパラグラフライティング 7. リスニング（少し長めの内容） ● 会話や説明文などを聞き、要点をメモする練習 ● True/False クイズ、並べ替え、穴埋め問題などで確認
2	4/21		
3	4/28	Lesson2　With the Beatles	
4	5/12		
5	5/19	Lesson3　Wild Men	
6	5/26		
7	6/2	Lesson4　Little Hero	
8	6/9		
9	6/16	Lesson5　Special Makeup in Kabuki	
10	6/30		
11	7/1	Reading1　Mujina	
12	7/7		
13	10/2	Lesson6　Seeds for Future Generations	1. 前期の復習＋導入アクティビティ ● 現在完了・過去進行形の再確認 ● 自由会話：What did you do during the break? 2. 仮定法・比較表現の導入 ● 仮定法の基本（If I were..., I would...） ● 比較級・最上級を使った表現 例：「This movie is more interesting than that one.」 3. 意見を述べる練習 ● 賛成・反対のフレーズを使った簡単なディスカッション 例：「I think online classes are useful.」「I disagree because...」 4. 読解（少し複雑な構文を含むテキスト） ● 海外の文化や習慣に関する英文 ● 内容理解＋意見文を書く練習に発展 5. 英語による発表活動 ● 発表テーマ例：「A person I admire」「My dream job」 ● 原稿を準備し、口頭発表（動画提出でも可） 6. 実用ライティング ● Ｅメール形式で依頼やお礼を書く練習 ● パラグラフ構成に注意して書くトレーニング 7. 総合リスニング演習 ● 少し長めの会話・説明・ナレーション ● 聞き取りメモ、ディクテーション、口頭要約の練習
14	10/10		
15	10/20	Lesson7　Over the Wall	
16	10/27		
17	11/4	Lesson8　Inspiration from Nature	
18	11/10		
19	11/17	Lesson9　The Bitter Truth behind Chocolate	
20	12/1		
21	12/8	Lesson10　Fighting Angel	
22	12/15		
23	1/5	Reading2　Bear's Pie	
24	1/13		

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
英語	論理・表現Ⅰ	単位数：２	月成

指導目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。

文構造から仮定法まで基本となる文法事項を学び、情報や考えを表す英語力を習得する。レポートでは文章をまとめる力を養う。スクーリングでは発表の仕方を学び、コミュニケーション能力を高める。

メディア学習	あり	東京書籍ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ講座	教科書	東京書籍 英Ⅰ322
スクーリング	必要時間数８単位時間以上		副教材	プリント教材ｅトレ
レポート	全６回	B4 ６枚＋ｅラーニング	試験範囲	レポート第１回～第６回
単位認定試験	あり	評価割合　80%	評　定	100 点満点　５段階評定

1～12：前期　　13～24：後期

回	開始週	学習内容	スクーリング内容 （以下の中から選択して実施します）
1	4/11	Lesson1、Lesson2	1. オリエンテーション・ウォームアップ ● 科目の目的と評価の説明 ● 自己紹介＋簡単な自己表現（「私は〇〇が好きです」など） 2. 意見表明の基本表現 ● I think..., I believe..., In my opinion... の使い方 ● 理由を添える練習（because, so） 3. 英文構成の基礎（導入・本論・結論） ● ３パートで１つの意見文を書く構成を学ぶ ○ Introduction（主張） ○ Body（理由＋例） ○ Conclusion（まとめ） 4. ショートライティング①：身近なテーマ ● テーマ例：「スマホは便利か」「制服は必要か」 ● 3～5 文程度の意見文を書く練習 5. スピーチの導入（短い原稿での発話） ● 作成した意見文をもとに口頭発表 ● 正確さよりも“伝える姿勢”を重視 6. 文章を聞いて話す・書く ● 意見を述べるスピーチを聞き、要点をメモ ● それに対する自分の意見を書く（ディスカッション前段階）
2	4/21	Lesson3、Lesson4	
3	4/28	Lesson5、Lesson6	
4	5/12	Lesson7、Lesson8	
5	5/19	Lesson9、Lesson10	
6	5/26	Lesson11、Lesson12	
7	6/2	Lesson13、Lesson14	
8	6/9	Lesson15、Lesson16	
9	6/16	Lesson17	
10	6/30	Lesson18	
11	7/1	Lesson19	
12	7/7	Lesson20	
13	10/2	Lesson1、Lesson2	
14	10/10	Lesson3、Lesson4	
15	10/20	Lesson5、Lesson6	
16	10/27	Lesson7、Lesson8	
17	11/4	Lesson9、Lesson10	
18	11/10	Lesson11、Lesson12	
19	11/17	Lesson13、Lesson14	
20	12/1	Lesson15、Lesson16	
21	12/8	Lesson17	
22	12/15	Lesson18	
23	1/5	Lesson19	
24	1/13	Lesson20	

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
英語	Basic ProgramⅡ	単位数：２	杉山

指導目標

高校英語を学ぶにあたり、その為の基礎知識として、これまで習ってきた内容について復習する。特に読み書き念頭に置き、日常的な話題について、基本的な語句や文を用いて、情報を考え、気持ちなどを倫理性に注意して文章を書いて伝えることができるようになる。

メディア学習	あり	東京書籍ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ講座	教科書	東京書籍 ラスパ英語
スクーリング	必要時間数８単位時間以上		副教材	プリント教材ｅトレ
レポート	全６回	B4 ６枚	試験範囲	レポート第１回～第６回
単位認定試験	あり	評価割合　80%	評　定	100 点満点　５段階評定

１～12：前期　　13～24：後期

回	開始週	学習内容	スクーリング内容 （以下の中から選択して実施します）
1	4/11	大きな声で堂々と！	1. オリエンテーション・英語との距離を縮める ● 英語アレルギーを和らげるレクリエーション的活動 ● 英語の音や文字に慣れる（アルファベットゲームなど） 2. あいさつ・自己紹介 ● Hello / How are you? / My name is ～. などの基本表現 ● 自己紹介カードづくり → 発表（無理のないペースで） 3. be 動詞・一般動詞の使い分け ● I am a student. / You are kind. ● I play soccer. / She likes music. ● 肯定・否定・疑問文の基本パターン練習 4. よく使う日常表現をパターン練習 ● What time is it? / Do you like ～? / I don't know. ● フラッシュカードやペアワークで反復練習 5. 英語で書いてみよう（英作文導入） ● 名前・好きな食べ物・曜日などについて３文程度の英作文 6. 聞き取りとリピート ● 短い英語を聞いてマネする・声に出す ● 英語のリズムとイントネーションに慣れる 7. 数・曜日・月・日付の確認 ● 曜日・月の英語での言い方とその活用（My birthday is～）
2	4/21	気持ちを込めて言ってみよう！	
3	4/28	お願いしよう！注文したい！	
4	5/12	人や物について言ってみよう	
5	5/19	いろいろと質問してみよう！	
6	5/26	これは何？　あれは誰？	
7	6/2	同じ人について言う	
8	6/9	いろいろな動きを言ってみよう	
9	6/16	いろいろな動きを質問！	
10	6/30	誰が？　何を？	
11	7/1	したいことを言ってみよう	
12	7/7	できる！っていうときは	
13	10/2	大きな声で堂々と！	
14	10/10	気持ちを込めて言ってみよう！	
15	10/20	お願いしよう！注文したい！	
16	10/27	人や物について言ってみよう	
17	11/4	いろいろと質問してみよう！	
18	11/10	これは何？　あれは誰？	
19	11/17	同じ人について言う	
20	12/1	いろいろな動きを言ってみよう	
21	12/8	いろいろな動きを質問！	
22	12/15	誰が？　何を？	
23	1/5	したいことを言ってみよう	
24	1/13	できる！っていうときは	

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
学校設定科目	ソーシャルスキルⅠ-1、Ⅰ-2	単位数：４	川野

指導目標

身近な友人や家族、アルバイト先を想定した対人関係で必要な、各スキルの中でも最も基礎的な部分を学ぶ。

メディア学習	あり	NHK 高校講座	教科書	オリジナル教材
スクーリング	必要時間数４単位時間以上		副教材	オリジナル副教材
レポート	全 12 回	B4 12 枚	試験範囲	レポート第１回～第６回
単位認定試験	あり	評価割合　80%	評　定	100 点満点　５段階評定

1～12：前期　　13～24：後期

回	開始週	学習内容	スクーリング内容 （以下の中から選択して実施します）
1	4/9	援助を受けられるヒト、引き立てられる人	1　あいさつ・表情・身だしなみの大切さ ・第一印象の重要性と基本的な礼儀 ・TPO に応じた身だしなみや表情を整える練習 2　自分の気持ちを知る ・うれしい・悲しい・イライラなど感情の名前と言語化 ・感情と行動のつながりに気づくワーク 3　話の聞き方・話し方の基本 ・相手の目を見てうなずく、あいづちの練習 ・わかりやすく伝える言葉選びと声のトーン 4　依頼と断り方 ・丁寧にお願いをする言い方の練習 ・無理なことを傷つけずに断る表現を考える 5　ルールとマナー ・公共の場や集団生活におけるマナーの確認 ・ルールを守る理由と自分を守る意味を理解 6　自己紹介と他己紹介 ・自分の良いところや興味を紹介する練習 ・他者の紹介を丁寧に伝えるトレーニング
2	4/16	援助を受けられるヒト、引き立てられる人	
3	4/30	学校で初めて会う人「はじめまして」	
4	5/13	友達に聞いてみよう「ちょっと、わかんない」	
5	5/20	断る方法いろいろ「うまいコツは？」	
6	5/27	友人に頼む「聞いてくれる？」	
7	6/3	ストレスがたまる「自分の場合」	
8	6/10	時間と約束を守ろう「まずは、遅れないで」	
9	6/17	ちょっとお助け「持ってあげよう」	
10	6/24	学校でのボランティア「やらなきゃ損！」	
11	7/16	SSⅠ-1 のまとめ①	
12	7/22	SSⅠ-1 のまとめ②	
13	10/2	家族には恥ずかしい！？「ちょっと行ってくる」	
14	10/9	気持ちを聴こう！「なるほどね…。」	
15	10/21	職場での断り方「それは、ちょっと…」	
16	10/28	職場での頼み方「代わってくれない？」	
17	11/11	短気は損気「まずはこらえて…」	
18	11/18	トラブル解決法「手順をつかめ」	
19	11/25	法律や規則を守ろう「悪いことは悪い！」	
20	12/2	シンナーはやらない！「手軽さがワナ」	
21	12/9	SSⅠ-2 のまとめ①	
22	12/16	SSⅠ-2 のまとめ②	
23	12/23	SSⅠのまとめ①	
24	1/7	SSⅠのまとめ②	

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
学校設定科目	ソーシャルスキルⅡ-1、Ⅱ-2	単位数：４	川野

指導目標

友達とはいかないまでも、同じクラスや学校である「名前と顔は知っている」程度の知り合いの関係、家の近所に住む人などを想定した、個人のネットワーク作りに必要なスキルを学ぶ。

メディア学習	あり	NHK 高校講座	教科書	オリジナル教材
スクーリング	必要時間数４単位時間以上		副教材	オリジナル副教材
レポート	全 12 回	B4 12 枚	試験範囲	レポート第１回～第６回
単位認定試験	あり	評価割合　80%	評　定	100 点満点　５段階評定

1～12：前期　　13～24：後期

回	開始週	学習内容	スクーリング内容 （以下の中から選択して実施します）
1	4/9	SSⅠの復習	1　気持ちのコントロール ・怒り・不安などの感情を落ち着ける方法（深呼吸・考え方の転換） ・感情に流されない対応の仕方をロールプレイ 2　立場を変えて考える力（共感力） ・相手の立場になって考える場面練習 ・言われたらどう感じるか、されてうれしいことを考える 3　アサーティブな自己表現 ・「言いたいことを我慢しない・攻撃しない」伝え方 ・I（アイ）メッセージを使った練習 4　対立やトラブルへの対応 ・もめごとが起きた時の冷静な対応ステップ ・話し合いによる解決と、第三者の活用 5　協力とチームワーク ・役割分担と責任を持つ大切さ ・みんなで一つの目標を達成するワーク活動 6　ネットでのやりとり・SNS マナー ・文字だけのコミュニケーションの注意点 ・送る前に立ち止まって考える習慣づけ
2	4/16	個人のネットワークを作れる人	
3	4/30	友人との毎日（朝と帰り）：「おはよう」	
4	5/13	ちょっと分からない：「お聞きしてもいいですか？」	
5	5/20	誘われたけど：「はっきり言おう」	
6	5/27	先生に頼む：「先生、お願いが…」	
7	6/3	自分のストレス解消法：「わたしはコレ！」	
8	6/10	友人とのトラブル：「決めつけないで」	
9	6/17	怖～い薬物：「たった一回が…」	
10	6/24	乗り物でのボランティア：「座りますか？」	
11	7/16	SSⅡ-1 のまとめ①	
12	7/22	SSⅡ-1 のまとめ②	
13	10/2	アルバイト先の一日「おはようございます」	
14	10/9	先生に話は分かった？「もう一度言って下さい」	
15	10/21	家族だから、上手に断る「ごめん…」	
16	10/28	はっきり言おう「お願いがあるんだけど」	
17	11/11	カッとならないために「他にもあるよ」	
18	11/18	相談相手を見つけよう「誰に頼むか？」	
19	11/25	エイズに注意「ホントに知ってる？」	
20	12/2	家でのボランティア「家族の一員として」	
21	12/9	SSⅡ-2 のまとめ①	
22	12/16	SSⅡ-2 のまとめ②	
23	12/23	SSⅡのまとめ①	
24	1/7	SSⅡのまとめ②	

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
学校設定科目	ソーシャルスキルⅢ-1、Ⅲ-2	単位数：４	川野

指導目標

社会の一員として今後活躍していくことを想定し、他人から信頼される人、尊重される人になるために必要なスキルを学ぶ。

メディア学習	あり	NHK 高校講座	教科書	オリジナル教材
スクーリング	必要時間数４単位時間以上		副教材	オリジナル副教材
レポート	全 12 回	B4 12 枚	試験範囲	レポート第１回～第６回
単位認定試験	あり	評価割合　80%	評　定	100 点満点　５段階評定

1～12：前期　　13～24：後期

回	開始週	学習内容	スクーリング内容 （以下の中から選択して実施します）
1	4/9	SSⅠ及びⅡの復習	1　自分の強み・価値観を知る ・自分の得意・大切にしていることを言葉にする ・価値観の違いを認める活動（比較・対話） 2　状況に応じた言動選択 ・職場・学校・友人など場面ごとのふるまい方を考える ・相手・状況に合わせた適切な言動の練習 3　ボランティア・社会貢献の意義 ・自分以外の人・社会のためにできることを考える ・地域とのつながり・人と協働する体験的ワーク 4　インタビュー・対話による関係構築 ・相手に興味を持って話を聞くスキル ・オープン質問とクローズ質問の使い分け 5　将来の人間関係と課題 ・就職後・家庭・地域などでの関わり方をシミュレーション ・困ったときの相談先・頼り方を考える 6　プレゼンテーションによる自己表現 ・自分の考えや経験を整理して伝える練習 ・相手を意識した話し方・発表の工夫を実践
2	4/16	人望がある人、人を動かせる人	
3	4/30	会社訪問の受付で	
4	5/13	親なんか（親孝行は今のうち!!）	
5	5/20	電話での勧誘	
6	5/27	家族に頼む	
7	6/3	苦手な相手と付き合う	
8	6/10	金銭トラブル	
9	6/17	元気にダイエット	
10	6/24	地域でのボランティア	
11	7/16	SSⅢ-1 のまとめ①	
12	7/22	SSⅢ-1 のまとめ②	
13	10/2	電話のマナー「今、いい？」	
14	10/9	忘れないように（メモを取る）	
15	10/21	キャッチセールス「私はいりません」	
16	10/28	こうしたほうがいい「絶対オススメ」	
17	11/11	ストレスを活かす「よいストレス」	
18	11/18	交通事故を起こした「こうすればいいんだ」	
19	11/25	相手を大切に「ほんとに、もてるヤツ」	
20	12/2	だれも見てない「知られなくても」	
21	12/9	SSⅢ-2 のまとめ①	
22	12/16	SSⅢ-2 のまとめ②	
23	12/23	SSⅢのまとめ①	
24	1/7	SSⅢのまとめ②	

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
総合探究	総合的な探究の時間Ⅰ	単位数：２	瀬口

指導目標

① 主体的に課題を見出し、多角的に探究する力を育成する

自らの興味・関心から課題を設定し、情報を収集・分析する過程を通して、課題に対して多面的な視点をもって探究する態度と力を養う。

② 他者と協働しながら、思考を深め、表現する力を育成する

グループでの対話や発表を通じて、自らの考えを広げたり再構成したりしながら、論理的かつ創造的に表現する力を身につける。

③ 自己の在り方や将来の生き方を考える態度を育成する

探究活動を通して社会との関わりや実社会の課題に目を向け、自らの価値観や将来の生き方について考え、自己の成長につなげる。

メディア学習	なし		教科書	なし
スクーリング	必要時間数２単位時間以上		副教材	各自準備
レポート	全２回	B4 ２枚	試験範囲	試験なし
単位認定試験	なし		評　定	なし　合否判定

Ⅰ～Ⅱ：前期　　Ⅲ～24：後期

回	開始週	学習内容	スクーリング内容
Ⅰ	4/9	課題意識をもつ（探究の出発点）	【Ⅰコマ目】探究の導入とグループワーク①（50 分） Ⅰ. 導入・ねらいの共有（Ⅰ0 分） 本時のテーマ提示：「これまでの学びを生かし、山都町に貢献するには？」 目的：自己の学びを社会に還元する視点をもつ／地域理解を深める 地域紹介動画や写真、キーワード提示（例：高齢化、自然資源、観光、人材不足など） 2. 振り返りワーク（個人）（Ⅰ0 分） ワークシート記入：今までに学んだことで印象に残っていることは？ その中で「人・社会・地域」とつながりがある内容は？ 自分の興味・関心と山都町との接点は？ 3. グループ共有・ディスカッション（25 分） 3～4 人グループで「自分たちの学びから山都町にどう貢献できるか」を話し合う 4. 発表準備（5 分） アイデアを模造紙や付箋にまとめる（次時に発表） ◆【2 コマ目】発表・振り返り（50 分） Ⅰ. グループ発表（25 分） 各グループが「自分たちの学びを生かした山都町への貢献提案」を発表（Ⅰグループ 3～5 分） 他のグループからも質問・コメント 2. 講評・まとめ（Ⅰ0 分） 教員からの講評／山都町との接点がある場合は地元の方からコメント 学びが社会とつながる実感を持たせるフィードバック 3. 振り返りワーク（Ⅰ5 分） 個人で以下をワークシートに記入： 印象に残ったグループのアイデア 今後、自分にできる地域貢献のアイデア 探究を通して気づいたこと・学んだこと
2	4/16	情報を集める（調査・情報収集）	
3	4/30	整理・分析する（考察を深める）	
4	5/13	まとめる・表現を考える（発表準備）	
5	5/20	発表する（アウトプット・共有）	
6	5/27	ふりかえる・次につなげる（探究の再構築）	
7	6/3		
8	6/10		
9	6/17		
Ⅰ0	6/24		
Ⅰⅰ	7/16		
Ⅰ2	7/22		
Ⅰ3	Ⅰ0/2	課題意識をもつ（探究の出発点）	
Ⅰ4	Ⅰ0/9	情報を集める（調査・情報収集）	
Ⅰ5	Ⅰ0/2Ⅰ	整理・分析する（考察を深める）	
Ⅰ6	Ⅰ0/28	まとめる・表現を考える（発表準備）	
Ⅰ7	Ⅰⅰ/Ⅰⅰ	発表する（アウトプット・共有）	
Ⅰ8	Ⅰⅰ/Ⅰ8	ふりかえる・次につなげる（探究の再構築）	
Ⅰ9	Ⅰⅰ/25		
20	Ⅰ2/2		
2Ⅰ	Ⅰ2/9		
22	Ⅰ2/Ⅰ6		
23	Ⅰ2/23		
24	Ⅰ/7		

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
総合探究	総合的な探究の時間２	単位数：２	梶田

指導目標

① 主体的に課題を見出し、多角的に探究する力を育成する

自らの興味・関心から課題を設定し、情報を収集・分析する過程を通して、課題に対して多面的な視点をもって探究する態度と力を養う。

② 他者と協働しながら、思考を深め、表現する力を育成する

グループでの対話や発表を通じて、自らの考えを広げたり再構成したりしながら、論理的かつ創造的に表現する力を身につける。

③ 自己の在り方や将来の生き方を考える態度を育成する

探究活動を通して社会との関わりや実社会の課題に目を向け、自らの価値観や将来の生き方について考え、自己の成長につなげる。

メディア学習	なし		教科書	なし
スクーリング	必要時間数２単位時間以上		副教材	各自準備
レポート	全２回	B4 ２枚	試験範囲	試験なし
単位認定試験	なし		評　定	なし　合否判定

1～12：前期　　13～24：後期

回	開始週	学習内容	スクーリング内容
1	4/9	課題意識をもつ（探究の出発点）	【1 コマ目】探究の導入とグループワーク①（50 分） 1. 導入・ねらいの共有（10 分） 本時のテーマ提示：「これまでの学びを生かし、山都町に貢献するには？」 目的：自己の学びを社会に還元する視点をもつ／地域理解を深める 地域紹介動画や写真、キーワード提示（例：高齢化、自然資源、観光、人材不足など） 2. 振り返りワーク（個人）（10 分） ワークシート記入：今までに学んだことで印象に残っていることは？ その中で「人・社会・地域」とつながりがある内容は？ 自分の興味・関心と山都町との接点は？ 3. グループ共有・ディスカッション（25 分） 3～4 人グループで「自分たちの学びから山都町にどう貢献できるか」を話し合う 4. 発表準備（5 分） アイデアを模造紙や付箋にまとめる（次時に発表） ◆【2 コマ目】発表・振り返り（50 分） 1. グループ発表（25 分） 各グループが「自分たちの学びを生かした山都町への貢献提案」を発表（1 グループ 3～5 分） 他のグループからも質問・コメント 2. 講評・まとめ（10 分） 教員からの講評／山都町との接点がある場合は地元の方からコメント 学びが社会とつながる実感を持たせるフィードバック 3. 振り返りワーク（15 分） 個人で以下をワークシートに記入： 印象に残ったグループのアイデア 今後、自分にできる地域貢献のアイデア 探究を通して気づいたこと・学んだこと
2	4/16	情報を集める（調査・情報収集）	
3	4/30	整理・分析する（考察を深める）	
4	5/13	まとめる・表現を考える（発表準備）	
5	5/20	発表する（アウトプット・共有）	
6	5/27	ふりかえる・次につなげる（探究の再構築）	
7	6/3		
8	6/10		
9	6/17		
10	6/24		
11	7/16		
12	7/22		
13	10/2	課題意識をもつ（探究の出発点）	
14	10/9	情報を集める（調査・情報収集）	
15	10/21	整理・分析する（考察を深める）	
16	10/28	まとめる・表現を考える（発表準備）	
17	11/11	発表する（アウトプット・共有）	
18	11/18	ふりかえる・次につなげる（探究の再構築）	
19	11/25		
20	12/2		
21	12/9		
22	12/16		
23	12/23		
24	1/7		

令和７年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

教　　科	科　　目		担　当　者
総合探究	総合的な探究の時間３	単位数：１	大津

指導目標

① 主体的に課題を見出し、多角的に探究する力を育成する

自らの興味・関心から課題を設定し、情報を収集・分析する過程を通して、課題に対して多面的な視点をもって探究する態度と力を養う。

② 他者と協働しながら、思考を深め、表現する力を育成する

グループでの対話や発表を通じて、自らの考えを広げたり再構成したりしながら、論理的かつ創造的に表現する力を身につける。

③ 自己の在り方や将来の生き方を考える態度を育成する

探究活動を通して社会との関わりや実社会の課題に目を向け、自らの価値観や将来の生き方について考え、自己の成長につなげる。

メディア学習	なし		教科書	なし
スクーリング	必要時間数１単位時間以上		副教材	各自準備
レポート	全１回	B4　１枚	試験範囲	試験なし
単位認定試験	なし		評　定	なし　合否判定

１～12：前期　　13～24：後期

回	開始週	学習内容	スクーリング内容
1	4/9	課題意識をもつ（探究の出発点）	【1 コマ目】探究の導入とグループワーク①（50 分） 1. 導入・ねらいの共有（10 分） 本時のテーマ提示：「これまでの学びを生かし、山都町に貢献するには？」 目的：自己の学びを社会に還元する視点をもつ／地域理解を深める 地域紹介動画や写真、キーワード提示（例：高齢化、自然資源、観光、人材不足など） 2. 振り返りワーク（個人）（10 分） ワークシート記入：今までに学んだことで印象に残っていることは？ その中で「人・社会・地域」とつながりがある内容は？ 自分の興味・関心と山都町との接点は？ 3. グループ共有・ディスカッション（25 分） 3～4 人グループで「自分たちの学びから山都町にどう貢献できるか」を話し合う 4. 発表準備（5 分） アイデアを模造紙や付箋にまとめる（次時に発表） ◆【2 コマ目】発表・振り返り（50 分） 1. グループ発表（25 分） 各グループが「自分たちの学びを生かした山都町への貢献提案」を発表（1 グループ 3～5 分） 他のグループからも質問・コメント 2. 講評・まとめ（10 分） 教員からの講評／山都町との接点がある場合は地元の方からコメント 学びが社会とつながる実感を持たせるフィードバック 3. 振り返りワーク（15 分） 個人で以下をワークシートに記入： 印象に残ったグループのアイデア 今後、自分にできる地域貢献のアイデア 探究を通して気づいたこと・学んだこと
2	4/16	情報を集める（調査・情報収集）	
3	4/30	整理・分析する（考察を深める）	
4	5/13	まとめる・表現を考える（発表準備）	
5	5/20	発表する（アウトプット・共有）	
6	5/27	ふりかえる・次につなげる（探究の再構築）	
7	6/3		
8	6/10		
9	6/17		
10	6/24		
11	7/16		
12	7/22		
13	10/2	課題意識をもつ（探究の出発点）	
14	10/9	情報を集める（調査・情報収集）	
15	10/21	整理・分析する（考察を深める）	
16	10/28	まとめる・表現を考える（発表準備）	
17	11/11	発表する（アウトプット・共有）	
18	11/18	ふりかえる・次につなげる（探究の再構築）	
19	11/25		
20	12/2		
21	12/9		
22	12/16		
23	12/23		
24	1/7		

令和７年度　一ツ葉高等学校　特別活動全体計画

１．目標

集団や社会の形成者としての視点や考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的かつ実践的に取り組むことで、互いの長所や可能性を引き出し、集団や個人の生活上の課題を解決する。これにより、以下の資質・能力の育成を目指す。

（１）多様な他者と協働する集団活動の意義と必要な行動について理解し、適切な行動がとれるようになる。
（２）集団や個人の生活、人間関係の課題を見つけ出し、話し合いや合意形成、意思決定を通じて解決する能力を身に付ける。
（３）自主的かつ実践的な集団活動を通じて学んだことを活かし、社会に積極的に参加し、生活や人間関係を改善する。また、人としての自覚を深め、自己実現に向けた姿勢を育成する。
（４）デジタル技術の活用により、情報収集と共有を効率化し、現代社会における新しい課題に迅速に対応できる能力を身に付ける。
（５）簿記を通して、「経済」「職業」「お金」についての理解が深まり、会計や経営の基本を学ぶことで社会の中で働くことや企業の役割への理解を深める。

上記目標達成のため、以下の内容の特別活動を行います。

２．学習計画

（１）面接指導（スクーリング）　【２００分以上】

	活動内容	特別活動の観点
１	開校式	人間関係形成・自己実現
２	グループワーク	人間関係形成・社会参画
３	地域交流	社会参画・人間関係形成
４	閉校式	人間関係形成・自己実現

（２）メディア授業　【３００分以上】

１年

目標		
他者と協働する意味を理解し、集団活動ができるようになる。		
時数	活動内容	視聴時間、特別活動の視点
１	コミュニケーション・社会参加	４０分／自己実現・人間関係形成
２	福祉・環境	４０分／社会参画
３	仕事・地域	４０分／社会参画
４	簿記の基礎	１８０分／自己実現・社会参画

２年

目標		
集団や社会の形成者としての見方や考え方を広げ、進路選択につながる自己理解を深め、人間関係構築をスムーズに行えるように育む。		
時数	活動内容	視聴時間、特別活動の視点
１	コミュニケーション・社会参加	４０分／自己実現・人間関係形成
２	福祉・環境	４０分／社会参画
３	仕事・地域	４０分／社会参画
４	取引の記帳・決算	１８０分／自己実現・社会参画

３年

目標		
進路選択について自ら解決するために、どのように考えて、どのように行動すべきかなどを考え実践することで、進路決定につなげる。		
時数	活動内容	視聴時間、特別活動の視点
１	コミュニケーション・社会参加	４０分／自己実現・人間関係形成
２	福祉・環境	４０分／社会参画
３	仕事・地域	４０分／社会参画
４	簿記	４００分／自己実現・社会参画

３．評価の観点

本校が定める評価の観点は以下の通りである。

（１）ソーシャルスキルを活用し、集団生活を営む上で必要な技能を確認する。

（２）地域の課題発見や解決につながる思考力、判断力、表現力を確認する。

（３）主体的に参加する姿勢や自己実現を目指す姿勢を確認する。

（４）環境問題に対する意識と実践的な行動能力を評価する。生徒が環境保全活動にどれだけ積極的に参加しているか、その効果をどのように理解し、実行しているかを確認する。